『宇宙のまち』さいたま

さいたま市

令和７年度

さいたま市青少年宇宙科学館

年　報

さいたま市教育委員会事務局　生涯学習部
青少年宇宙科学館

目　　次

１　施設案内・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３
２　運営方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５
３　事業概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　６
令和７年度　展示・投影・事業等一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１０
４　事業内容
（１）展示事業
ア　常設展示・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１１
イ　企画展一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１３
（ア）企画展「ワクワクロボットランド２０２５」・・・・・・・・・・・・・・・　１４
（イ）企画展「おもしろ！むしむしワールド２０２５」・・・・・・・・・・・・・　１４
（ウ）企画展「夏休みこども科学館まつり」・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１５
（エ）企画展「『宇宙のまち さいたま』展」・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１７
（オ）企画展「錯視展　キミはだまされる！？錯視びっくりな世界」・・・・・・・　１８
（カ）企画展「星景写真展～美しい星空を求めて～」・・・・・・・・・・・・・・　１８
（キ）企画展「ワクワク☆キッズランド２０２６」・・・・・・・・・・・・・・・　１９
ウ　作品展
「宇宙の日」記念　全国小・中学生作文絵画コンテスト作品展・・・・・・・・・・　１９
エ　来館者評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２０
（２）プラネタリウム投影事業
ア　一般投影・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２１
（ア）プラネタリウム入場者について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２１
（イ）今夜の星空解説（生解説）＋一般番組・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２１
（ウ）すべて生解説の投影・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２３
（エ）その他の投影・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２３
イ　学習投影
（ア）小４・中３学習利用　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２５
（イ）園児（幼稚園・保育園）のプラネタリウム利用　・・・・・・・・・・・・・　２９
（３）普及事業
ア　普及事業一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３１
イ　教室事業
（ア）天体観望会　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３２
（イ）顕微鏡教室　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３３
（ウ）自然観察教室　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３３
（エ）天文宇宙教室　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３３
（オ）昆虫博士教室　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３４
（カ）市民大学　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３４
（キ）科学実験教室・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３５
（ク）科学工作教室・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３５

（ケ）ＳＴＥＭ教室・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３６
（コ）電波工作教室・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３６
（サ）ハートキッズ教室・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３６
ウ　若田光一宇宙飛行士関連事業
（ア）若田宇宙飛行士アカデミー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３７
（イ）コズミックカレッジ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４３
（ウ）若田名誉館長杯　ローバーロボット大会２０２５・・・・・・・・・・・・４３
エ　ワークショップ・外部団体との連携
（ア）ワークショップ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４５
（イ）外部団体との連携・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４６
オ　館内イベント
（ア）太陽観察会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４７
（イ）「若田光一宇宙飛行士コーナー」体験ツアー ・・・・・・・・・・・・・・４７
（ウ）サイエンスショー
カ　学校等支援事業
（ア）スクール・サポート・サイエンス事業・・・・・・・・・・・・・・・・・５０
（イ）サイエンス・フェスティバル・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５２
（ウ）高校生ロケット大会２０２５・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５４
（エ）さいたま市児童生徒科学教育振興展覧会・・・・・・・・・・・・・・・・５４
（オ）さいたま市理科教育研究発表会　（児童生徒の部）・・・・・・・・・・・５５
（カ）土曜チャレンジスクール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５５
（キ）中高生等による科学館ボランティア・・・・・・・・・・・・・・・・・・５６
（ク）中学生職場体験事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５６
（ケ）小学校施設見学・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５６
（４）「宇宙のまち　さいたま」フォーラム・・・・・・・・・・・・・・・・・５７
５　管理事項
（１）組織・予算・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６０
（２）設備・備品一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６１
（３）利用状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６３
（４）プラネタリウム入場者調査・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６４
（５）青少年ホール・視聴覚ホールの利用状況・・・・・・・・・・・・・・・・６５
６　報道記録・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６７
７　さいたま市青少年宇宙科学館条例・施行規則・・・・・・・・・・・・・６８
８　利用案内・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７６
９　印刷物一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７７

1　施設案内

（1）施設概要

ア　建設場所　さいたま市浦和区駒場 2 丁目 3 番 45 号

イ　構　　造　鉄骨・鉄筋コンクリート
（一部鉄筋コンクリート造）
地下 1 階、地上 5 階建

ウ　敷地面積　4,334m^2

エ　建築面積　2,596m^2

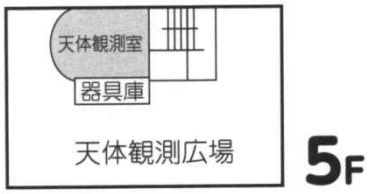
オ　延床面積　6,312m^2

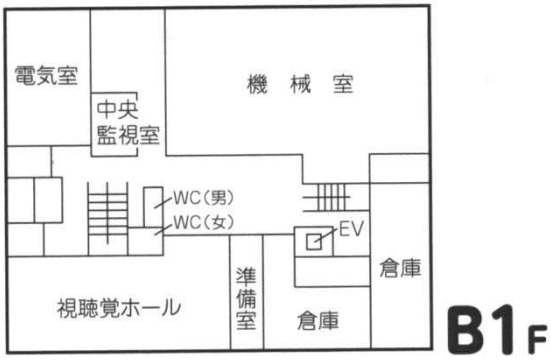
カ　総建設事業費　約 30 億円

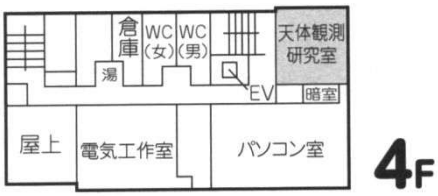
キ　教室等の面積及び用途

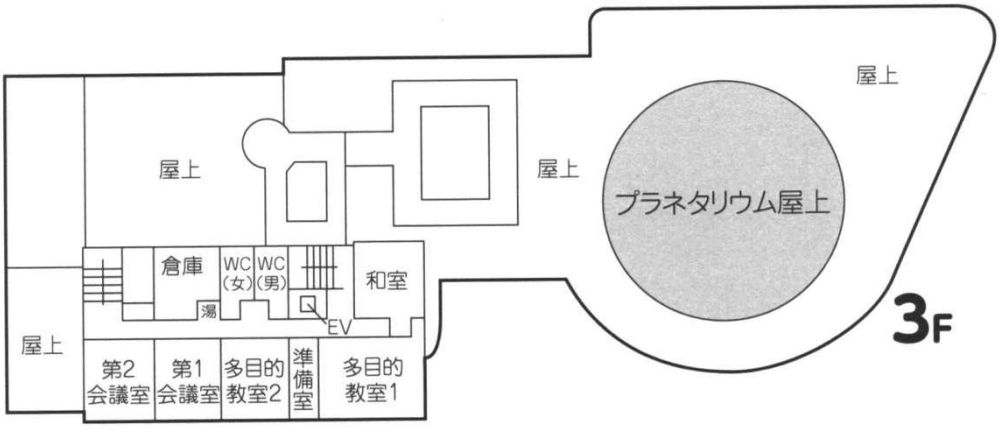
階	教　室　名	面積（m^2）
1 階	プラネタリウム	373.25
	青少年ホール	275.13
	ふしぎ広場	427.00
	特別展示室	142.47
	ふれあい広場	150.00
2 階	ひまわり広場	482.00
	宇宙広場	379.00
	事務室	88.16
	団体拠室	102.88
3 階	多目的教室 1	64.93
	多目的教室 2	42.00
	第 1 会議室	42.00
	第 2 会議室	44.28
	和室	45.53
4 階	パソコン教室	87.75
	電気工作室	66.22
	天体観測研究室	41.23
5 階	天体観測室	47.34
	天体観測広場	284.26
地下 1 階	視聴覚ホール	182.47

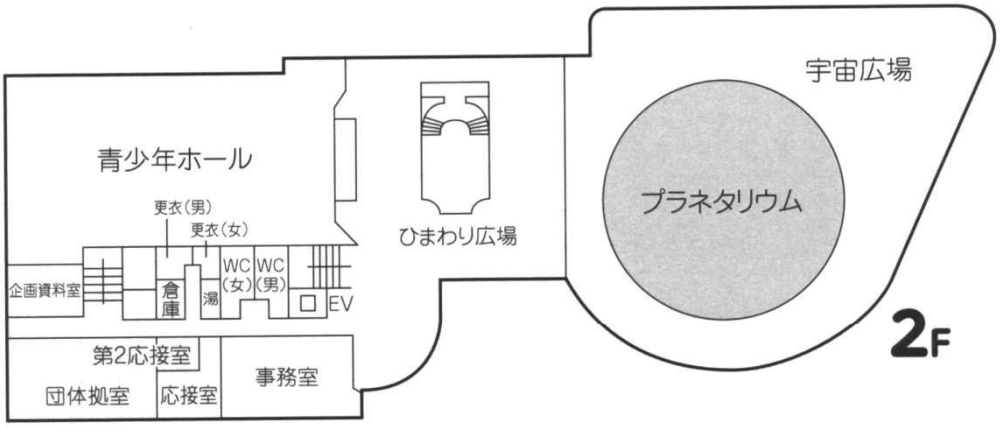
ク　各階見取図

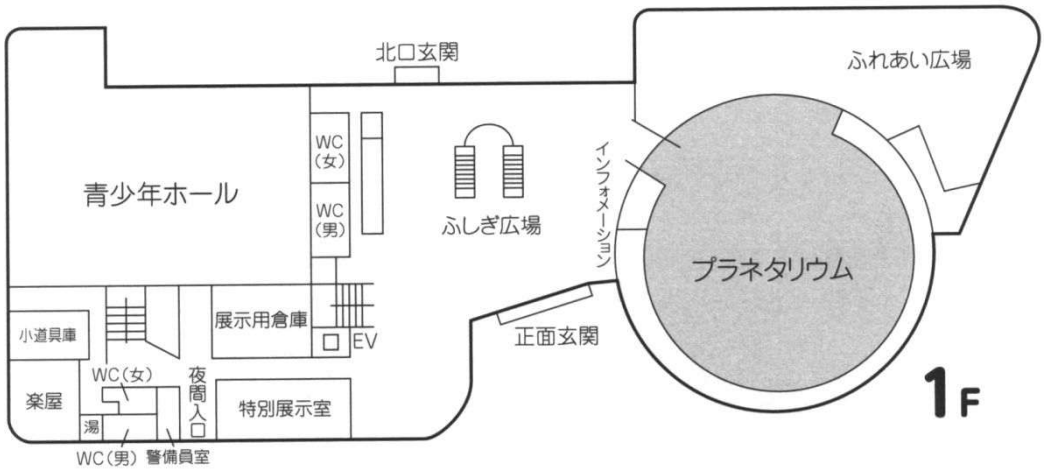

天体観測室
器具庫
天体観測広場
5F


電気室
中央監視室
機　械　室
WC(男)
WC(女)
EV
倉庫
視聴覚ホール
準備室
倉庫
B1F


倉庫
WC(女)
WC(男)
天体観測研究室
湯
EV
暗室
屋上
電気工作室
パソコン室
4F


屋上
屋上
屋上
プラネタリウム屋上
倉庫
WC(女)
WC(男)
和室
湯
EV
屋上
第2会議室
第1会議室
多目的教室2
準備室
多目的教室1
3F


宇宙広場
青少年ホール
更衣(男)
更衣(女)
ひまわり広場
プラネタリウム
企画資料室
倉庫
WC(女)
WC(男)
湯
EV
第2応接室
団体拠室
応接室
事務室
2F


北口玄関
ふれあい広場
青少年ホール
WC(女)
WC(男)
ふしぎ広場
インフォメーション
プラネタリウム
小道具庫
展示用倉庫
EV
正面玄関
楽屋
WC(女)
夜間入口
湯
特別展示室
WC(男)
警備員室
1F

２　運営方針

（１）目的

青少年の科学に対する関心を深め、科学教育の振興に寄与するとともに、未来社会に対応できる創造性豊かな青少年の育成を図る。

（２）基本方針

ア　青少年をはじめ、市民に親しまれるさまざまな事業を通して、宇宙や科学に対する興味・関心を高める。
イ　学校教育との連携を深め、科学的な思考や学習意欲を高める。
ウ　展示並びに普及事業等を通して、青少年の健全な育成を図る。

（３）運営の重点事項

ア　「宇宙のまち　さいたま」の推進
・宇宙時代をたくましく生き、未来を創造する人材の育成を目指し、「宇宙のまち　さいたま」教育プロジェクトを推進するとともに、宇宙に関わる専門家、大学、企業等で構成される「宇宙のまち　さいたま」サポーターの協力を得て、「宇宙のまち　さいたま」フォーラムを開催する。

イ　若田宇宙飛行士関連事業の充実・推進
・宇宙飛行士や科学者を目指す子どもたちを応援するプロジェクト「若田宇宙飛行士アカデミー」など、さいたま市が誇る若田光一宇宙飛行士の活躍を広める事業を引き続き実施する。

ウ　宇宙劇場、生涯学習部関連施設、企業等との連携強化

エ　ＰＲ活動の強化
（ホームページの充実、ＹｏｕＴｕｂｅ チャンネル・Ｘ（旧Ｔｗｉｔｔｅｒ）フォロワー数増加、市報、チラシ、市内掲示板、報道関係等）

オ　プラネタリウム投影の円滑な実施

カ　学校と連携した事業の充実
・全ての小・中・中等教育学校・特別支援学校を対象とした「プラネタリウムを活用した学習利用」をはじめ、出前授業や出前天体観望会を行う「スクール・サポート・サイエンス」、市内の中・中等教育・高等学校・団体の生徒が、ワークショップやサイエンスショー動画制作を行う「サイエンス・フェスティバル」等、学校との連携事業の充実を図る。

3　事業概要

ア　展示事業

「見て、ふれて、考えて、チャレンジできる科学館」「出会いを大切にする科学館」を目指し、時代のニーズに合わせた展示物の更新、展示方法の刷新を行った。企画展・特別展示では、参加体験型の企画及び展示、体験学習に努め、本物に触れ、体験し、専門家等と直に接することを通して、来館者の価値ある学びにつながるよう努力した。

（ア）展示事業概況

a　常設展示

・館内イベントや事業開催に関する告知を適宜更新
・２階ひまわり広場に「しずくのストロボショー」を導入
・２階宇宙広場に「蓄光お絵かきシート」を導入
・自然科学や天文宇宙に関する映像の上映（大型ディスプレイにて）

b　企画展

「ワクワクロボットランド２０２５」
「おもしろ！むしむしワールド２０２５」
「夏休みこども科学館まつり」「電気展　電気の不思議ミュージアム」
「『宇宙のまち　さいたま』展」
「錯視展　キミはだまされる！？錯視びっくりな世界」
「星景写真展～美しい星空を求めて～」
「ワクワク☆キッズランド２０２６」

c　作品展

「『宇宙の日』記念行事　全国小・中学生作文絵画コンテスト作品展」

（イ）館内研修

・展示物解説研修（展示解説マニュアルの作成と活用）
・企画展等の事前解説研修の実施

イ　プラネタリウム投影事業

ハイブリッドプラネタリウム（恒星球と全天周プロジェクター）により、一般投影及び特別投影を行った。特に、１,０００万個の星空の美しさは入場者から高い評価を得ている。

（ア）一般投影

土日祝日や長期休業中は子ども向け（小学生以下）プラネタリウム番組と全編星空解説のみのプログラムなどを用意し、様々なニーズに対応できるように調整を図った。

a　ハイブリッドプラネタリウム番組　今夜の星空解説＋一般番組

「プラネタリウム　ドラえもん　宇宙の模型」
「しまじろう　まほうのしまのだいぼうけん」
「天空の果てへ　有人気球・宇宙はすぐそこにある」
「おじゃる丸　プラネタリウムスペシャル　銀河がマロを呼んでいる～ふたりの願い星～」
「COSMOS －光との約束－」

b　オリジナルプラネタリウム番組（解説員によるすべて生解説）

「星宙散歩」その月の話題を織り交ぜた５０分間の生解説

ｃ　特別投影

市民の方のニーズに応えるため、さまざまな特別投影を行った。今年度は、「熟睡プラ寝たリウムｉｎさいたま」、「プラネタリウムｄｅ読み聞かせ」、「はじめてのプラネタリウム」、「さいレンジャープラネタリウム」、「『地球の歩き方　宇宙兄弟』舞台を巡るプラネタリウム」を実施した。

（イ）学習投影

ａ　小４・中３学習利用（プラネタリウムを活用した学習投影と体験学習）

ｂ　園児（幼稚園・保育園）のプラネタリウム利用（七夕投影・幼児投影）

（ウ）職員研修

ａ　一般投影

・入場者を対象にアンケート調査を計画的に実施した。番組ごとにアンケート投影を行うことにより、投影技術の向上や番組内容、運営面等での改善や構成の充実に努めた。

・星宙散歩の話題を原則隔月で変更し、輪番制で担当を決め、資料を作成した。

ｂ　学習投影

・小学４年生及び中学３年生対象の学習利用における今夜の星空解説（児童生徒の体験型並びにパワーポイント利用による学習効果の向上）の充実に努めた。

・宇宙劇場会場の実施においても当館所属の指導主事が解説し、科学館会場の投影と同様の学習内容を保っている。

ウ　普及事業等

健全な青少年の育成を中心に据え、社会の変化に対応できるために必要な科学技術や天文・自然科学に関する最新の情報や基礎的な知識・技術などの普及に努めた。

（ア）教室事業等

ａ　天体観望会　**ｂ**　顕微鏡教室　**ｃ**　自然観察教室　**ｄ**　天文宇宙教室
ｅ　昆虫博士教室　**ｆ**　市民大学　**ｇ**　科学実験教室　**ｈ**　科学工作教室
ｉ　ＳＴＥＭ教室　**ｊ**　電波工作教室　**ｋ**　ハートキッズ教室

（イ）若田光一宇宙飛行士関連事業

ａ　常設展示

若田宇宙飛行士の最新情報に関する掲示・ＤＶＤ上映

ｂ　イベント

（ａ）若田宇宙飛行士アカデミー

・スペースコース
・ロボットディスカバリーコース
・ロボットチャレンジコース

（ｂ）コズミックカレッジ（科学館会場１回、宇宙劇場会場１回）

（ｃ）若田名誉館長杯ロボット大会

（ウ）ワークショップ・外部団体との連携

ａ　ワークショップ

ｂ　外部との連携（ワークショップ、実験教室）

（エ）館内イベント事業

ａ　太陽観察会

ｂ　「若田光一宇宙飛行士コーナー」体験ツアー

ｃ　サイエンスショー（特別サイエンスショーを含む）

（オ）学校等支援事業

a　スクール・サポート・サイエンス事業

b　サイエンス・フェスティバル（ワークショップ・サイエンスショー・動画制作）

c　高校生ロケット大会

d　さいたま市児童生徒科学教育振興展覧会（さいたま市教育研究会理科専門部ほか）

e　さいたま市理科教育研究発表会（さいたま市教育研究会理科専門部ほか）

f　土曜チャレンジスクール（さいたま市立小学校）

g　中高生等による科学館ボランティア

h　中学生職場体験事業「未来くるワーク体験」

i　小学校施設見学

（カ）他館等連携事業

a　埼玉大学教育学部地学実験（埼玉大学教育学部）

b　「宇宙の日」記念行事　全国小・中学生作文絵画コンテスト（宇宙航空研究開発機構）

c　「宇宙のまち　さいたま」フォーラムワークショップ（高校・大学・各種団体）

（キ）刊行物

a　年報

（ク）広報

a　ホームページ

b　Ｘ（旧Ｔｗｉｔｔｅｒ）・ＹｏｕＴｕｂｅ公式チャンネル

c　企画展・プラネタリウム番組等チラシ（市内全小・中学校等に配布）

d　「宇宙のまち　さいたま」フォーラムチラシ（市内全小・中学校等に配布）

e　プラネタリウム懸垂幕

f　日刊記者室・地方記者クラブ室への記者発表

g　さいたま市公式ＳＮＳ発信

h　その他

（ケ）館内研修

a　サイエンスショーの充実

来館者に科学の不思議を実感させる事業の充実（月１回事業係で研修会を実施）

b　教室事業・イベントの充実

多くの子どもたちへの科学に対する興味・関心の高揚を目的とした、各種事業や館内イベントへの参加促進

エ　「宇宙のまち　さいたま」フォーラム

市民が宇宙や科学の面白さや不思議さに触れ、宇宙や科学へのあこがれや大きな志を膨らませるとともに、若田宇宙飛行士の功績を青少年宇宙科学館からさいたま市へ、さらに日本全国に向けて発信することなどを通して、教育と人材育成を柱とした「宇宙のまち　さいたま」をより一層推進することを目的として開催した。

オ　その他

（ア）施設の貸出

a　青少年ホール、視聴覚ホール、パソコン教室を一般市民へ貸出（有料）

b　ホール、会議室等を市内の青少年団体、学校教育関係者へ貸出（無料）

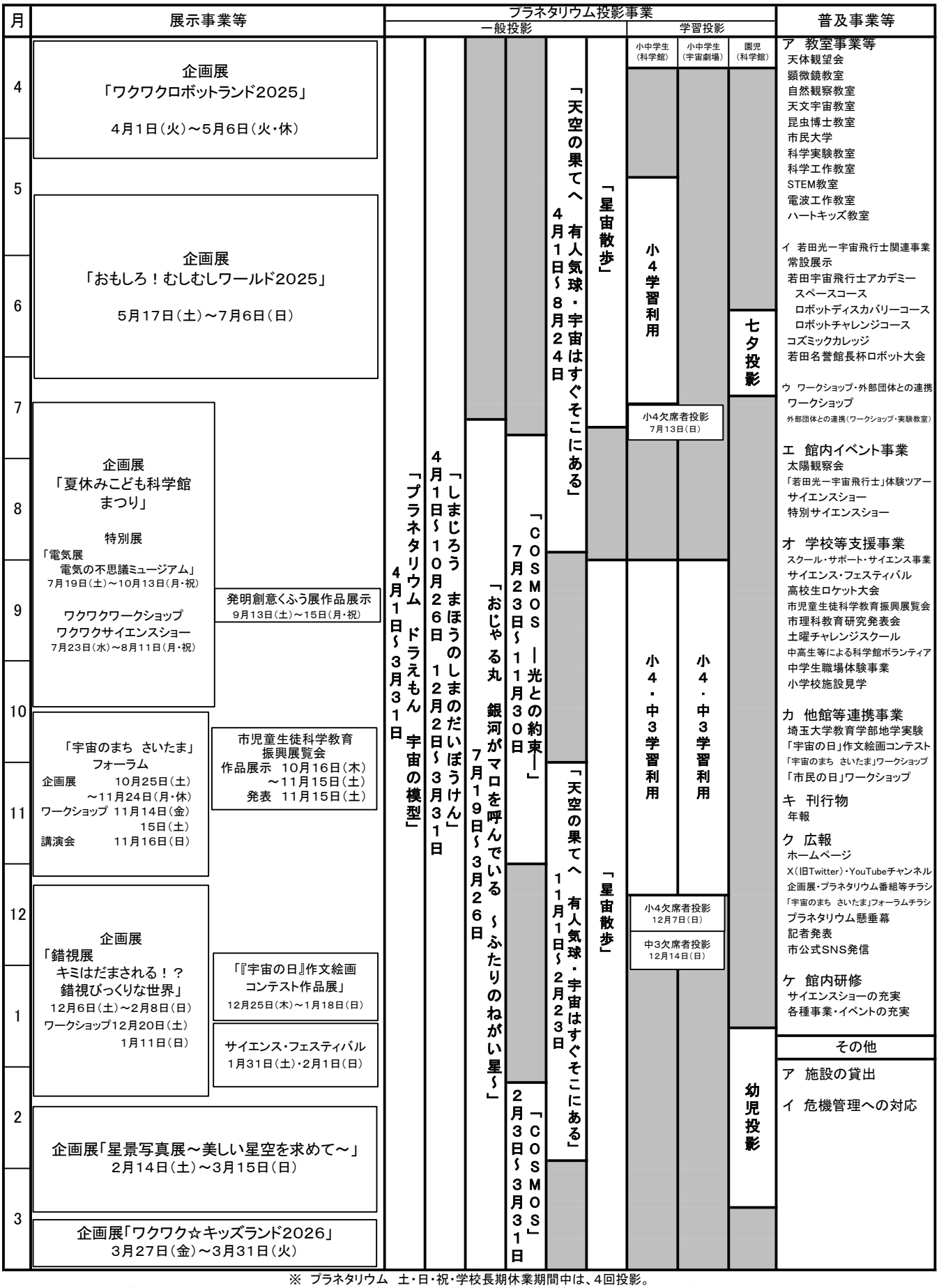
（イ）危機管理への対応

a　「危機管理マニュアル」と「危機管理業務担当者及び勤務状況表」の活用

b　消防訓練及びＡＥＤ操作研修

c　月１回の全員出勤日による安全点検及び毎日の開閉館時における安全点検

令和7年度　さいたま市青少年宇宙科学館　展示・投影・事業等一覧



※　プラネタリウム　土・日・祝・学校長期休業期間中は、4回投影。

※　学校課業中の平日は、火～金の4回目のみ投影。ただし、市立小中学校終業式及び修了式、2月以降の学校課業中の平日は2回投影。

4　事業内容

（1）展示事業

ア　常設展示

	番号	展示品・コーナー名	内　容
一階ふしぎ広場	A－01	ボールコースター	位置エネルギーと運動エネルギーの移り変わり
	A－02	光のタワー	人力発電量
	A－03	ウェーブオルガン	音と波
	A－04	登る水面	遠心力
	A－05	不思議の世界 森の住人、不思議なフォーク エイリアンは誰だ！、映画の原理 ベンハムの円板、うずまきシーソー 視覚の不思議	人間の知覚、錯覚、幻覚、だまし絵、かくし絵
	A－06	光のマジック エレクトリックフラワー、不思議な鏡、 消えるリンゴ、ホログラフィー	放電現象、凹面鏡でできる虚像等
	A－07	浦和の航空写真	街の移り変わり
	A－09	音の壁	エレクトロニクス
	A－10	フーコーの振り子	地球の自転
		音で光る壁	音に反応しカラフルに光るLED
	A－15	ボールサーキット	電磁石の力
	A－16	スイングバイ	ケプラーモーション
		巨大万華鏡	不思議な鏡の世界
		浮かんで見える鏡	不思議な鏡の世界
二階ひまわり広場	B－01	身近な自然の窓Ⅰ	さいたま市で見つけた野鳥、昆虫標本等
	B－02	顕微鏡コーナー ミクロの世界	双眼実体顕微鏡、光学顕微鏡、電子顕微鏡、微生物動画等
	B－03	身近な自然の窓Ⅱ	さいたま市で見られる植物、動画資料等
	B－04	気象コーナー	十種雲形、動画資料等
		しずくのストロボショー	ストロボを用いた雨粒の形の観察
	B－05	生きものコーナー	宇宙メダカ、ウーパールーパー、見沼の生き物等
	B－07	国際宇宙ステーション	宇宙開発
	B－08	フリーダム	宇宙開発
	B－09	化石・岩石コーナー	化石、鉱物
	B－10	パワーズオブテン	ミクロから大宇宙への旅
	B－11	集音パラボラ	パラボラ集音器の仕組み
		きっず図書コーナー	クッションマット、幼児用図書
		光の三原色	光の三原色、色の三原色
		天文情報	2025年の天文現象、2026年の天文現象
	B－14	図書コーナー	星に関する本など
		ニュートリノ・カミオカンデ	光電子増倍管

	番号	展示品名	内　容
二階　宇宙広場	C－01	四季の星座	春夏秋冬の南天、夏冬の北天
	C－02	季節と太陽高度	太陽高度と影の長さ
	C－03	流星と隕石	流星の種類、テキサスオデッサの隕鉄
	C－04	輝く太陽	太陽エネルギー、表面の様子、日食
	C－05	月の世界	月の様子、月の満ち欠け、月食
	C－06	青い惑星・地球	地球の構造、地球創造
	C－07	太陽系	太陽系の軌道、惑星の大きさ・質量・様子、 惑星探査機、太陽系の創造
	C－09	宇宙をさぐる	宇宙開発競争
	C－10	恒星・太陽の仲間	恒星の一生、恒星の大きさH,R図
	C－11	宇宙をはかる	恒星までの距離、宇宙の広さ、星までの距離
	C－15	宇宙のひろがり	天の川、銀河系、銀河、宇宙の進化
	C－16	銀河系の星雲、星団	系内の星雲、星団
		太陽系の仲間	惑星
	C－18	宇宙のなぞ	宇宙誕生、ブラックホール、ダークマター等
	C－19	スペースロード	ブラックライトによる太陽風の演出
		星景写真ギャラリー	星景写真
		星空のある風景	天体動画
		蓄光お絵かきシート	蓄光シートを用いたお絵かきコーナー
二階　若田光一宇宙飛行士コーナー		国際宇宙ステーションの生活	ISSの寝室、トイレ
		若田名誉館長手形展示物	若田光一宇宙飛行士の右手の手形
		10万人の宇宙飛行士DVD	平成20年度さいたま市立小・中・特別支援学校の すべての学級集合写真収録
		ロケット・宇宙船模型	クルードラゴン宇宙船・ファルコン9ロケット・SLSロケット模型
		EMU船外活動宇宙服	実際と同じ生地を使った船外活動宇宙服
		フライト記念品	こいのぼり、ボード等
		これまでの活躍（映像）	若田宇宙飛行士の功績
		若田宇宙飛行士ゆかりの品	フライトスーツなど
		インタラクティブコンテンツ	星空の体験展示

イ　企画展一覧

企画展名	趣旨・目的	開催期間	会場	期間中入館者数（人）
企画展 ワクワクロボットランド２０２５	プログラミングロボットやリモコンで操作するロボット、木でできたブロックや積み木、立体パズルなどいろいろなおもちゃで遊びながら学ぶプレイランドを提供する。	４月１日 ～ ５月６日 （３２日間）	特別展示室	１４，１２９人
企画展 おもしろ！むしむしワールド２０２５	環境に応じて多様に進化した昆虫の外形態や生態を学ぶとともに、来館者が様々な昆虫を見たり触れたりする中で昆虫に対する興味関心を高め、地球を大切に思う心をはぐくむ機会を提供する。	５月１７日 ～ ７月６日 （４４日間）	特別展示室	２４，８８２人
企画展 夏休みこども 科学館まつり	夏休みにじっくりと科学技術に触れることができるよう、展示・体験・ものづくり・サイエンスショーなど多様な方法で科学技術を紹介する場を提供する。さらに子どもたちの夏休みの自由研究に生かすことができる情報提供をする。	７月１９日 ～ １０月１３日 （８７日間）	青少年ホール サイエンスショーコーナー	４６，７７４人
特別展示 電気展　電気の不思議ミュージアム	暮らしに欠かせない電気をテーマにした体験展示や資料展示、解説を通して、電気への興味・関心を高める。また、電気エネルギーの特性や再生可能エネルギーに触れる機会とし、持続可能な社会づくりへの理解を深める。		特別展示室	
企画展 「宇宙のまち　さいたま」展	「宇宙のまち　さいたま」フォーラムの一環として、昨年迎えた５周年から次の５か年に向けて、「宇宙のまち　さいたま」の周知の一層の充実を目指す。加えて、宇宙環境や宇宙開発について知るとともに、ホワイトパズルやＳＯＲＡ－Ｑ、船内活動服着用体験などを通して、宇宙や科学へのあこがれや興味関心を高める。	１０月２５日 ～ １１月２４日 （２７日間）	特別展示室	９，９８７人
企画展 錯視展　キミはだまされる！？錯視びっくりな世界	大きさの認識や色彩に対する感覚を意図的に狂わせる錯視、鏡に映ると姿の変わる立体錯視、錯視を用いた撮影スポット等により、来館者の科学に対する興味・関心を高める。	１２月６日 ～ ２月８日 （４９日間）	特別展示室	１６，３９６人
企画展 星景写真展～美しい星空を求めて～	美しい星景写真や映像、撮影風景を展示することで、星への興味や関心を高める。星や星座、宇宙に対して身近に感じてもらえる機会を提供する。	２月１４日 ～ ３月１５日 （２６日間）	特別展示室	７，５８８人
企画展 ワクワク☆キッズランド２０２６	様々なプログラミングロボットを体験することで、問題を解決する力や計画し準備する力、客観的に考える力などプログラミング的な思考を遊びながら学ぶプレイランドを提供する。	３月２７日 ～ ３月３１日 （４日間）	特別展示室	１，５６０人
合計				１２１，３１６人

（ア）企画展「ワクワクロボットランド２０２５」

ａ　ねらい　　プログラミングロボットやリモコンで操作するロボット、木でできたブロックや積み木、立体パズルなどいろいろなおもちゃで遊びながら学ぶプレイランドを提供する。いろいろなおもちゃを展示、体験することで、おもちゃを通していろいろな視点での考え方や想像力・科学的な現象にふれる機会とする。

ｂ　期　間　令和７年４月１日（火）～５月６日（火・休）

ｃ　場　所　１階　特別展示室

ｄ　内　容

・ロボットランド：コードＡピラー、アリロ（プログラミングロボット）、
昆虫ロボット、ねずみロボット

・おもちゃランド：花びら型パズルジスター、マグ・フォーマー、カプラ、つみき






（イ）企画展「おもしろ！むしむしワールド２０２５」

ａ　ねらい　　本展は、太古の原始的な昆虫から、現在も生きる世界中の多様な昆虫たちの姿をもとに、地球環境に合わせて多様にたくましく進化した外形態や生態などを学び、来館者が様々な昆虫を見たり触れたりする中で昆虫に対する興味・関心を高めることを目的としている。また、昆虫の化石や大型昆虫から小型昆虫に至るまで多様な現生種の実物展示を行い、生物多様性について学ぶ機会を提供する。

ｂ　期　間　令和７年５月１７日（土）～７月６日（日）

ｃ　場　所　１階　特別展示室

ｄ　内　容

（ａ）展示物

・昆虫化石　　・世界最大級のメガ昆虫　　・変わった形の昆虫標本　　・あぶない昆虫






（ｂ）カブトムシふれあいゾーン

○実施日数　１６日
○実施時間　１０：３０～１１：３０、１４：００～１５：００
○場　　所　１階　特別展示室
○参加人数　３，５２６人





（ウ）企画展「夏休みこども科学館まつり」

ａ　「電気展　電気の不思議ミュージアム

（ａ）　ねらい　　暮らしに欠かせない電気をテーマにした体験展示や資料展示、解説を通して、電気への興味・関心を高める。また、電気エネルギーの特性や再生可能エネルギーに触れる機会とし、持続可能な社会づくりへの理解を深める。

（ｂ）　期　間　令和７年７月１９日（土）～ 令和７年１０月１３日（月・祝）

（ｃ）　場　所　１階　特別展示室

（ｄ）　内　容

Ａ　展示物

・ＳＤＧｓ（持続可能な未来を目指す取り組み）紹介

Ｂ　展示体験

・机上タイプイライラ棒体験展示装置　・磁石浮上式リニアモーター
・ワイヤレス充電の仕組み　・うちわ発電サーキット　・貯めた電気でおもちゃと遊ぼう
・電気を作る、ためる、使う風力発電　・太陽光発電ジオラマ模型

Ｃ　イライラ棒体験

○実施日数　３９日
○実施時間　１０：３０～１１：３０、１４：００～１５：００
○場　　所　１階　特別展示室
○参加人数　２５，８３５人





ｂ　ワクワクワークショップ

（ａ）ねらい　概ね１０分以内で簡単なものづくりを体験できる「ワークショップ」を開催し、子どもから大人まで科学を楽しく学べる場を提供することで、来館者のものづくりへの興味・関心を高め、作る喜びや完成の達成感を味わわせる。また、「夏休みも科学館に行けば、いつも何か体験できる」と感じてもらうことで、来館者の満足度を高め、リピーターの増加を図る。

（ｂ）期　間　令和７年７月２３日（水）～ ８月１１日（月・祝）
１０：３０～１１：１５　　１３：３０～１４：４５

（ｃ）場　所　１階　青少年ホール

（ｄ）内　容

実施期間	製作物	費用	参加人数（人）
７月２３日（水） ～７月２９日（火）	キラキラ！ 銀河スライム	２００円	１，６７４
７月３０日（水） ～８月　５日（火）	不思議な世界！？ 手作り万華鏡	３００円	１，３１５
８月　６日（水） ～８月１１日（月・祝）	暗闇で光る！？ 星座キーホルダー	３００円	１，８１３





ｃ　ワクワクサイエンスショー　夏休み自由研究スペシャル

（ａ）ねらい　科学的なテーマに沿ったサイエンスショーを公開することを通して、来館者にイベントを提供するとともに、科学への興味・関心を高める。

（ｂ）期　間　令和７年７月２３日（水）～ ８月１１日（月・祝）

（ｃ）場　所　２階　サイエンスショーコーナー

（ｄ）内　容

実施期間	内容	参加人数（人）
７月２３日（水） ～７月２９日（火）	おどろき変化 科学実験	７１５
７月３０日（水） ～８月　５日（火）	キッチン 科学実験	４４４
８月　６日（水） ～８月１１日（月・祝）	とぶ・浮く 科学実験	６３３



（エ）企画展「『宇宙のまち　さいたま』展」

ａ　ねらい　　「宇宙のまち　さいたま」フォーラムの一環として、昨年迎えた５周年から次の５か年に向けて、「宇宙のまち　さいたま」の周知の一層の充実を目指す。加えて、宇宙環境や宇宙開発について知るとともに、宇宙飛行士が挑戦するパズルやＳＯＲＡ－Ｑ、オレンジスーツ着用体験などを通して、宇宙や科学へのあこがれや興味関心を高める。

ｂ　期　間　令和７年１０月２５日（土）～１１月２４日（月・休）

ｃ　場　所　１階　特別展示室

ｄ　内　容

（ａ）「宇宙のまち　さいたま」紹介コーナー

・「宇宙のまち　さいたま」紹介パネル

・「宇宙のまち　さいたま」アクションプランのＰＲ動画

（ｂ）宇宙や宇宙開発についての展示・体験コーナー

・月やアルテミス計画、ＩＳＳ、宇宙旅行プラン等の紹介パネル、宇宙食の展示

・ＳＯＲＡ－Ｑ紹介コーナー

・模型展示　ＳＬＳロケット（１／６０）・オライオン宇宙船（１／６０）

・読書コーナー

・ホワイトパズル体験コーナー

・宇宙服体験コーナー

（ｃ）ＳＯＲＡ－Ｑ体験会

○実施日数　８日
○実施時間　１０：３０～１１：３０
○場　　所　１階　特別展示室
○参加人数　４１３人





（オ）企画展「錯視展　キミはだまされる！？錯視びっくりな世界」

ａ　ねらい　　錯視とは、見たものが事実とは違って見えてしまう現象である。小さな子どもから大人まで幅広い層が楽しむことができる。大きさの認識や色彩に対する感覚を意図的に狂わせる錯視、鏡に映ると姿の変わる立体錯視、錯視を用いた撮影スポット等により、来館者の科学に対する興味・関心を高める。

ｂ　期　間　令和７年１２月　６日（土）～令和８年　２月　８日（日）

ｃ　場　所　１階　特別展示室

ｄ　内　容

（ａ）展示物

・錯視のいろいろ　・変身立体　・立体錯視　・錯覚フォトスポット　・図書コーナー





（ｂ）錯視ワークショップ

実施日時	内容	参加人数（人）
１２月２０日（土）　１０：３０～１１：３０	なんでも吸引４方向すべり台をつくろう	２５
１月１１日（日）　１０：３０～１１：３０		２５

・場　　所：２階　団体拠室

（カ）企画展「星景写真展～美しい星空を求めて～」

ａ　ねらい　　美しい星景写真や映像、撮影風景を展示することで、星への興味や関心を高める。星や星座、宇宙に対して身近に感じてもらえる機会を提供する。

ｂ　期　間　令和８年２月１４日（土）～３月１５日（日）

ｃ　場　所　１階　特別展示室

ｄ　内　容

（ａ）展示物

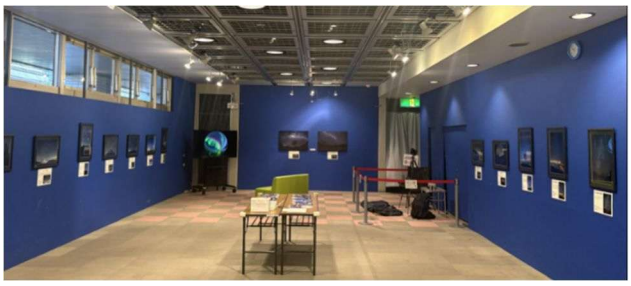
・星景写真　・写真撮影グッズ　・映像コーナー　・感想コーナー

（ｂ）講演会

〇実施日時　令和８年２月２２日（日）　１５：５０～１６：４０

〇場　　所　１階　プラネタリウムホール

〇参加人数　３２人



（キ）企画展「ワクワク☆キッズランド２０２６」

ａ　ねらい　　プログラミングロボットやアームを操作するおもちゃ、木でできたブロックや積み木、立体パズルなどいろいろなおもちゃで遊びながら学ぶプレイランドを提供する。いろいろなおもちゃを展示、体験することで、おもちゃを通していろいろな視点での考え方や想像力・科学的な現象にふれる機会とする。

ｂ　期　間　令和８年３月２７日（金）～３月３１日（火）

ｃ　場　所　１階　特別展示室

ｄ　内　容

・ロボットランド：アリロ（プログラミングロボット）、エアロレーサー、にょろっとアーム

・おもちゃランド：つみき・キュボロブロック、花びら型パズルジスター、
マグ・フォーマー、カプラ






ウ　作品展

（ア）「宇宙の日」記念　全国小・中学生作文絵画コンテスト作品展

ａ　ねらい　　毎年、宇宙航空研究開発機構（ＪＡＸＡ）では、宇宙の日を記念し、作文絵画コンテストを実施している。青少年宇宙科学館は、協力科学館の一つとして、作品の受付などの事業協力をしている。本企画は、宇宙に関するテーマで作文を書いたり、絵画を描いたりすることによって、児童生徒の宇宙に対する興味・関心を高める。また、本館で受け付けた作品の中で入選した作品を展示し、市民の興味・関心を高めていくことをねらいとしている。

ｂ　期　間　令和７年１２月２５日（木）～令和８年１月１８日（日）

ｃ　場　所　２階　ひまわり広場

ｄ　内　容　絵画の部の入選作品（２５点）と作文の部の入選作品（１４点）を展示した。



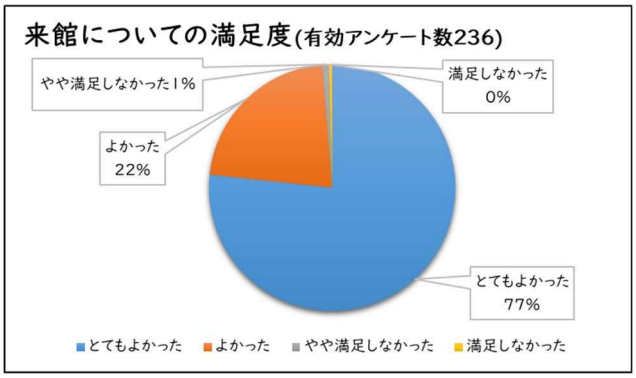


エ　来館者評価

（ア）内　容

来館者の情報や来館の目的、館利用の満足度等を調査して来館者評価としてまとめ、今後の館運営の改善に活かす。

（イ）結　果

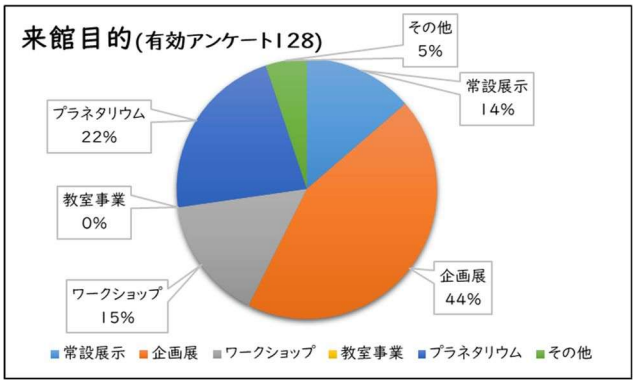


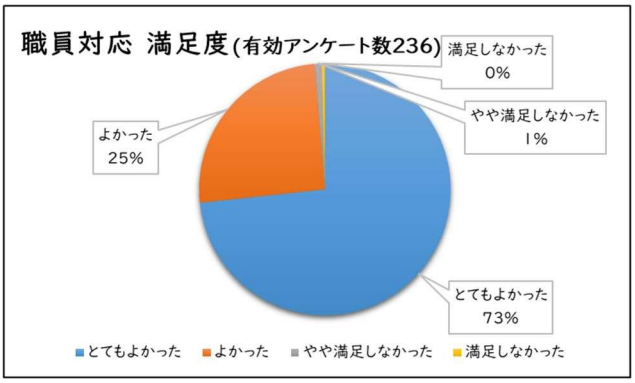
【各イベントの感想】

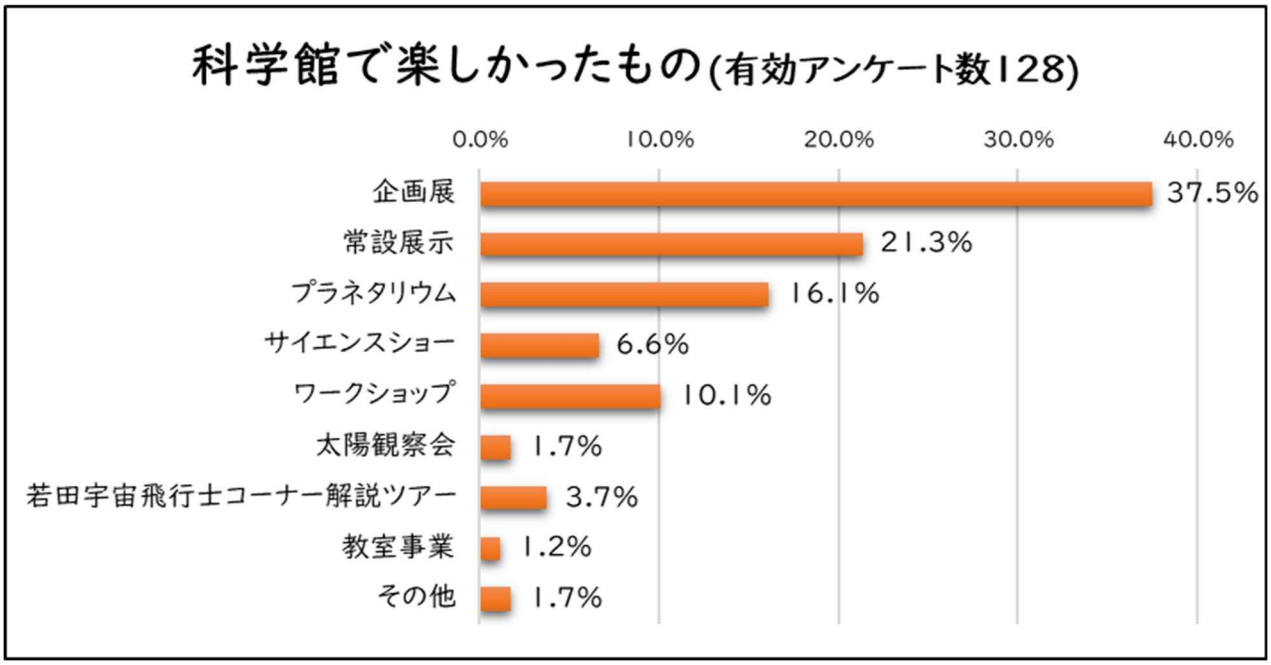
・小学生ぶりに来ましたが、大学生になってもとても楽しめる館内でした。

・いつも学習の機会をありがとうございます。これからも当選するのを願いながら応募します。

・指導してくださる方がわかりやすかったし、誉めてくれ、子供も安心していました







Q：科学館に要望があれば、教えてください。

A：・企画展がいつも面白いです。企画展をもっと広くやってほしいです。

・しょうがないのかもしれませんが、駐車場がもう少し広いと良いな、と思いました。

・難しいのかもしれませんが、カブトムシに触れる体験が整理券で制限されていたので、参加できず残念がっていました。

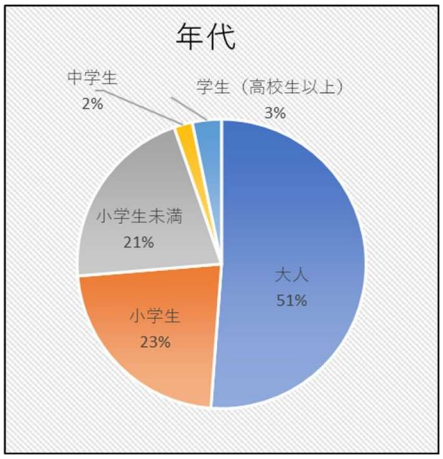
（２）プラネタリウム投影事業

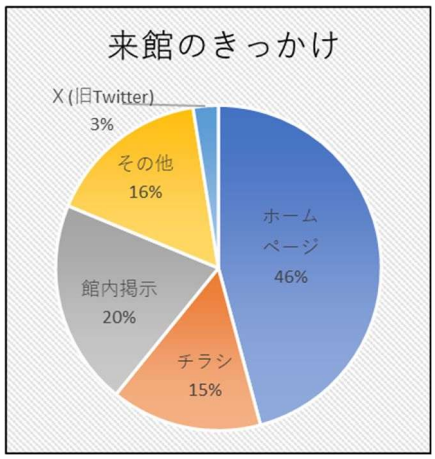
今年度も、入館者の大部分を占める小学生とその保護者をターゲットにした子ども向け番組と、子どもから大人まで楽しめる星空の物語等の番組を選定し、入場者の年齢や関心に合わせた番組を投影した。５０分間全て星空解説を行う「星宙散歩」では、天文現象やギリシャ神話などテーマを決めて解説した。また、特別投影として、読み聞かせ団体と連携した投影、初めてプラネタリウムに入る小さな子どもとその保護者をターゲットにした投影などを行った。

ア　一般投影

投影は、４月から１月までの平日１回、２月３月の平日は２回行った、土曜・日曜・祝日と夏季・冬季・春季休業中は１日４回行った。

（ア）プラネタリウム入場者について（アンケート集計結果より）



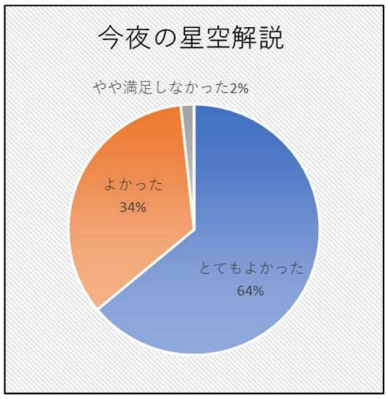


プラネタリウム入場者の大半は、子どもとその保護者である。また、入場するきっかけとしては、ホームページが全体の５割弱と大きい割合を占めている。このことから、分かりやすいホームページづくり、コンテンツのさらなる充実が必要である。また、その他の媒体として、市のＳＮＳ等があげられる。積極的な活用を行っていく。加えて、館内掲示を見て入場する場合も２割を占めていることから、企画展や講演会などのプラネタリウムではない目的での来館者へのアプローチとして、１階のプラネタリウム掲示板「アストロボード」や館内掲示などへの工夫を進め、引き続き、積極的なプロモーションを進めていきたい。

（イ）今夜の星空解説（生解説）　＋　一般番組

【今夜の星空解説（生解説）】

日没からさいたま市の星空、海や山で見る星空、「満天の星」という流れを基本に迫力ある全天周デジタル動画を差し込むなどの演出を加え、質の高い投影を行った。アンケート結果を見ても、入場者の９８％が満足する星空の解説をすることができた。

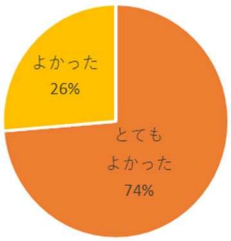


【一般番組】

番組名：「プラネタリウム ドラえもん　宇宙の模型」

投影期間：令和７年　４月１日（火）～令和８年　３月３１日（火）	投影回数：２３３回 入場者数：１８，７１６人

アンケート結果　番組の内容

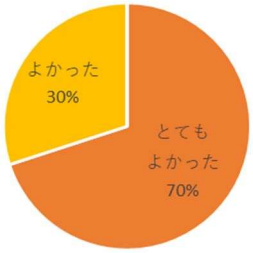


入場者の主な声
・また夏になったら見に来たいです。

番組名：「しまじろう　まほうのしまのだいぼうけん」

投影期間：令和７年　４月１日（火）～令和７年１０月２６日（日） 令和７年１２月２日（火）～令和８年　３月３１日（火）	投影回数：１６６回 入場者数：６，６１５人

アンケート結果　番組の内容

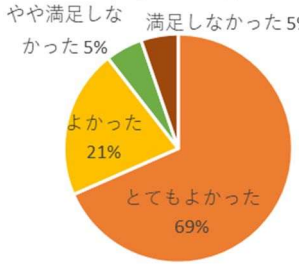


入場者の主な声
・しまじろうは子供が好き、内容感動しました。
・楽しかったです！私は前、プラネタリウムに行ったので、今日も楽しかったです。星も覚えて、私は３年生なので、理科をやるのが好きです。面白かったです。

番組名：「天空の果てへ　有人気球・宇宙はすぐそこにある」

投影期間：令和７年　４月１日（火）～令和７年　８月２４日（日） 令和７年１１月１日（土）～令和８年　２月２３日（月・祝）	投影回数：６７回 入場者数：２，００８人

アンケート結果　番組の内容

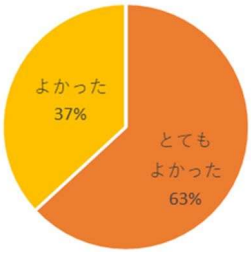


入場者の主な声
・初めてだったけど、すごく楽しかった。
・太陽系を探検する番組が見たいです。

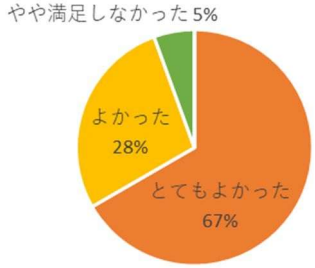
番組名：「おじゃる丸　プラネタリウムスペシャル　銀河がマロを呼んでいる～ふたりの願い星～」

投影期間：令和７年　７月１９日（土）～令和８年　３月２６日（木）	投影回数：１４４回 入場者数：４，２６６人

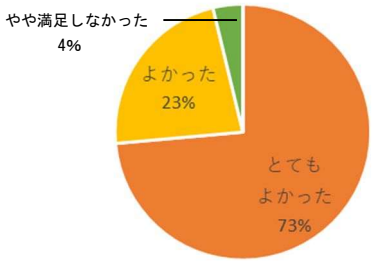
アンケート結果　番組の内容



入場者の主な声
・今夜、星を見るのが楽しみです！
・語りの方の声が心地よかったです。また来ます。

番組名：「ＣＯＳＭＯＳ - 光との約束 - 」	
投影期間：令和７年７月２３日（水）～令和７年１１月３０日（日） 令和８年２月　３日（火）～令和８年　３月３１日（火）	投影回数：７０回 入場者数：１，３７７人
アンケート結果 	番組の内容 入場者の主な声 ・ＣＯＳＭＯＳ感動しました。 ・大人にも子供にも希望と元気を与える内容で素晴らしかったです。

（ウ）すべて生解説の投影

番組名：「星宙散歩（ほしぞらさんぽ）」	
投影期間：令和７年４月１２日（土）～　令和７年７月１２日（土） 令和７年９月　６日（土）～　令和８年３月２１日（土）	投影回数：３９回 入場者数：１，０３８人
内容：銀河鉄道の星めぐり（４，５月）、星座のお話とギリシャ「神話（６，７月）、お月見と月食（９月）、若田光一宇宙飛行士に続け！有人宇宙飛行と宇宙開発の話（１０，１１月）、２０２６年の天文現象（１２、１月）、星の一生（２、３月）	
アンケート結果 	番組の内容 入場者の主な声 ・星のことがよく知れてよかったです。 ・とても面白かった。銀河鉄道の夜を読もうと思いました。また、星がとてもきれいでよかった。 ・銀河や星雲の解説を聞いてみたいです。

（エ）その他の投影

ａ　特別投影「熟睡プラ寝たリウムｉｎさいたま」

（ａ）ね ら い　プラネタリウムでは、ついうとうと寝てしまいそうになることが多いが、それを逆手にとって、気兼ねなく気持ちよくぐっすり寝ていただき、日頃の疲れを癒していただく。

（ｂ）日　　時　令和７年１１月２３日（日・祝）　１４：００～１４：５０

（ｃ）内　　容　満天の星のもとで、心地よい音楽と眠りを誘うような解説

（ｄ）参加人数　８４人

ｂ　特別投影「プラネタリウムｄｅ読み聞かせ」

（ａ）ね ら い　ホール内の大画面で読み聞かせをすることで、満天の星とともに楽しんでいただく。

（ｂ）日　　時　令和８年　１月２５日（日）　１２：００～１２：５０

（ｃ）内　　容　星空解説と「よい本を読む会」の方々による絵本３冊の読み聞かせ

（ｄ）参加人数　１３５人

ｃ　特別投影「はじめてのプラネタリウム」

（ａ）ね ら い　　プラネタリウムへ入ることに不安がある小さな子どもとその保護者を対象に、気兼ねなく投影を楽しんでいただくとともに、プラネタリウム入場者の年齢層の幅を広げ、入場者数増加を目指す。

（ｂ）内　　容　　小さな子ども向けの星空解説とプラネタリウム番組「キラキラ森のなかまたち～まほうのモーフくん～」

実施日時		参加人数（人）
令和７年　４月　６日（日）	１２：００～１２：４０	４６
令和７年　５月　５日（月・祝）	１２：００～１２：４０	６５
令和７年　６月　１日（日）	１２：００～１２：４０	１３９
令和７年　７月１２日（土）	１２：００～１２：４０	４１
令和７年　８月　３日（日）	１２：００～１２：４０	１３０
令和７年　９月　７日（日）	１２：００～１２：４０	１５７
令和７年１０月１２日（日）	１２：００～１２：４０	７６
令和７年１１月　２日（日）	１２：００～１２：４０	４５
令和７年１２月　６日（土）	１２：００～１２：４０	２７
令和８年　１月１１日（日）	１２：００～１２：４０	９５
令和８年　２月１１日（水・祝）	１２：００～１２：４０	１４６
令和８年　３月　１日（日）	１２：００～１２：４０	４５

ｄ　さいレンジャー　プラネタリウム

（ａ）日　　時　　令和７年１１月２３日（日・祝）
１０：００～１０：４５　１２：００～１２：４５

（ｂ）内　　容　　さいレンジャーによる星空解説と実験披露

（ｃ）参加人数　　合計９９人

ｅ　「地球の歩き方　宇宙兄弟」舞台を巡るプラネタリウム

（ａ）日　　時　　令和７年１１月２３日（日・祝）　１５：５０～１６：４０

（ｂ）内　　容　　「地球の歩き方　宇宙兄弟」に登場する舞台巡りと星空解説等

（ｃ）参加人数　　３４人

（オ）投影関連イベント

ＣＯＳＭＯＳフェス２０２６

ａ　日　　時　　令和８年３月８日（日）　１５：１０～１６：３０

ｂ　内　　容　　・「ＣＯＳＭＯＳ‐光との約束‐」の近清武監督による講演
・アクアマリンミニコンサート
・さいたま市立宮原中学校合唱部による合唱披露　等

ｃ　参加人数　　１１２人

イ　学習投影

（ア）小４・中３学習利用

ａ　ねらい

プラネタリウムを活用した学習で天体の動きを視覚的にとらえ、天体に関する理解を深める。また、問題解決的な学習や体験的な学習を通して、天文や科学について興味・関心を高めながら科学的な見方や考え方を養う。

ｂ　利用施設と利用時期

施設は、さいたま市青少年宇宙科学館（所在地：浦和区駒場、以下「浦和会場」）と、さいたま市宇宙劇場（所在地：大宮区錦町、以下「大宮会場」）を使用した。

○浦和会場

実施期間　令和７年５月１３日（火）～１２月　３日（水）
・小学４年生：５月１３日（火）～１２月　３日（水）
・中学３年生：９月　３日（水）～１２月　３日（水）

実施校　さいたま市立小学校７１校、中学校４０校（美園分教室を含める）
埼玉大学教育学部附属小学校、青山学院大学系属浦和ルーテル学院小学校
さくら草特別支援学校（小学部・中学部別）

○大宮会場

実施期間　令和７年９月　２日（火）～１１月２８日（金）
・小学４年生：９月２６日（金）～１１月２８日（金）
・中学３年生：９月　２日（火）～１１月１３日（木）

実施校　さいたま市立小学校３３校、中学校１９校
大宮国際中等教育学校、ひまわり特別支援学校（小学部・中学部合同）

ｃ　学習利用の内容

（ａ）プラネタリウム学習投影〔必須〕

○プラネタリウム「今夜の星空解説」（科学館指導主事による解説）（３０～３５分）

学習利用当日の天体の位置を示し、天体に関する情報や疑問を整理して解説することにより、天文に関する興味・関心を高め、知識を深めた。

日没の様子からはじめ、投影の時季に応じた星空を投影し、当日見られる代表的な星や星座、星団・星雲・銀河等を解説した。児童生徒自身が、後に実際の星空で観察できることをねらいとして解説を行った。また解説の中に若田宇宙飛行士からのメッセージが組み込まれており、子どもたちの興味・関心をいっそう高めることができた。

小学４年生では、星の明るさや色の違いに着目させ、それぞれに違いがあることに気付かせる参加型の活動を取り入れた。また、ギリシャ神話を紹介するなど、子どもたちにも親しまれる投影を心がけた。

○学習番組（小学校２５分、中学校３０分）

さいたま市のプラネタリウム学習利用ではオリジナル番組を投影している。市内教職員などからなるプラネタリウム学習番組制作委員会の協力のもと、現場の教員の声を反映し、学習指導要領に準拠した内容で科学館の指導主事が制作した。

・小学４年生

月の動きや星の明るさ、色の違い、星の集まりの動き方（日周運動）についての見方や考え方を学習する。

・学習番組「見上げてみよう　この空を」

・中学３年生

太陽や星の動きの規則性についての見方や考え方を学習する。また、恒星や惑星の特徴について理解を深めさせ、太陽と惑星の公転を関連付けて太陽系の構造を解説する。

・学習番組「宇宙の中の…」

（ｂ）体験学習〔選択：浦和会場のみ〕　＊カッコ内の時間は標準時間

○館内常設展示の見学（２０分、小４のみ実施）

・ふしぎ広場、ひまわり広場、宇宙広場の常設展示を見学及び体験する。

○星座早見教室（１５分、小４のみ実施）

・プラネタリウムホールで星座早見の使い方を学び、実際に星座早見を使って、使い方・見方を体験的に学習する。原則として星座早見は科学館のものを人数分貸与する。

○サイエンスショー（２０分、小４のみ実施）

・科学館職員が、当該学年で履修する学年内容に沿ったテーマで実験を行う。

○宇宙授業（５５分、中３のみ実施）

・青少年ホールにて生徒参加型の一斉授業を実施する。望遠鏡のしくみ、月、太陽、惑星の特徴や見え方、モデルを使った金星の満ち欠け等をわかりやすく解説する。また、土星の表面温度に近い液体窒素を使った演示実験を行う。



サイエンスショー（小４）



宇宙授業（中３）

ｄ　教員向け事前説明会

小学４年生及び中学３年生の学習利用説明会を、各校の担当教員を対象に実施した。学校職員の下見も兼ねており、それぞれの会場で行った。

○浦和会場

小４対象　４月　９日（水）　１５：３０～

中３対象　６月１８日（水）　１５：３０～

○大宮会場

小４、中３対象（同時開催）　６月２５日（水）　１５：３０～

ｅ　欠席者対象再投影 兼 保護者体験会

学習利用当日に参加できなかった児童生徒及び視聴を希望する保護者を対象に科学館で再投影を実施した。

小学４年生、中学３年生の欠席者に対して、学習利用当日に引率教員を通して案内文書を配付した。視聴希望の保護者については事前に申込期限を設定して電話と窓口で受け付けた。

小学４年生	①　７月１３日（日）	５１人	１０：００～１０：５５
	②１２月　７日（日）	９２人	１０：００～１０：５５
中学３年生	１２月１４日（日）	２２人	１０：００～１１：０５

f　年間計画の編成

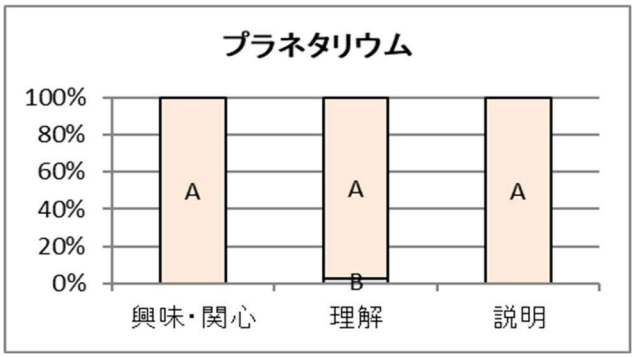
次年度学習利用の実施会場と利用日については、校長会学校と調整を図りながら、実施時期に偏りがないよう配慮しつつ、年度ごとに実施日と会場を決定している。

g　本年度の実績および成果

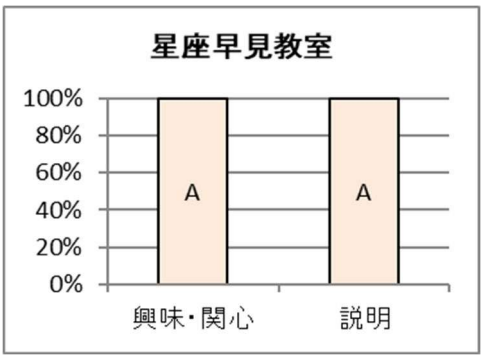
学習効果に対する評価（以下　浦和会場、大宮会場の小・中学校　すべて同じ評価内容）
Ａ：そう思う　Ｂ：どちらかというとそう思う　Ｃ：どちらかというとそう思わない
Ｄ：思わない　　（すべての評価について「Ｃ」・「Ｄ」の評価は０％）

○浦和会場

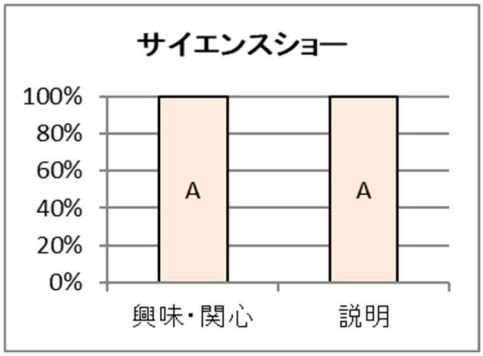
〔小学校〕実施校数：７４校（さくら草特別支援学校小学部、埼玉大学教育学部附属小学校４年、青山学院大学系属浦和ルーテル学院小学校４年を含む）
参加人数：児童８，２０６人（欠席２０３人）、引率者４２７人



小学校４年

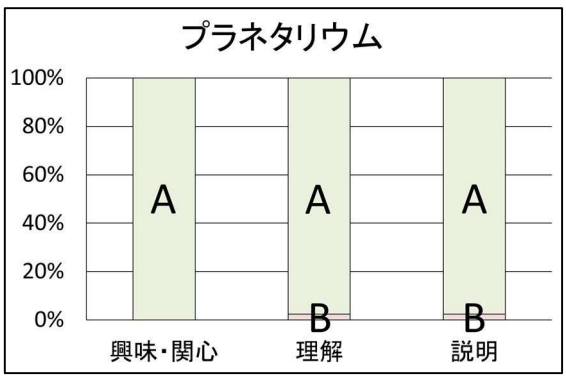


小学校４年

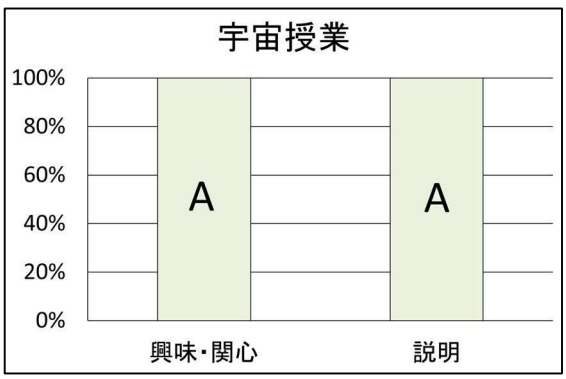


小学校４年

〔中学校〕実施校数：４１校（さくら草特別支援学校中学部を含む）
参加人数：生徒６，８７１人（欠席６７２人）、引率者３９９人



中学校３年

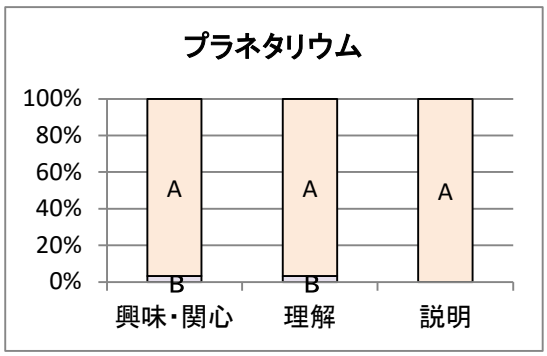


中学校３年

○大宮会場

〔小学校〕実施校数：３４校
（ひまわり特別支援学校小学部を含む）

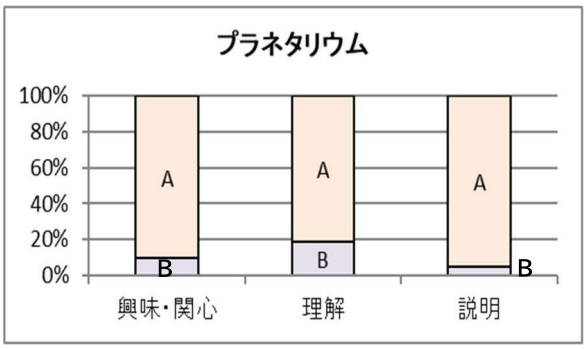
参加人数：児童３，３８５人
（欠席１４５人）
引率者：１８９人



小学校４年

〔中学校〕実施校数：２１校
（大宮国際中等教育学校、ひまわり特別支援学校中学部を含む）

参加人数：生徒３，００９人
（欠席２４１人）
引率者：１６９人



中学校３年

h　児童生徒の学習効果を高める工夫

（小学校）

・サイエンスショーを青少年ホールで実施した。第４学年次に学習する「空気の性質」にふれながら、実際に視覚・聴覚的に科学現象を体験することで理解が深まるよう実験内容を工夫した。また、実物投影機等を用いることで、より理解しやすい説明となるよう心掛けた。

（中学校）

・理科室では扱うことが難しい大きさのモデルや、液体窒素を使用した実験など、視覚的な驚きにつながる活動を取り入れることで、生徒が興味をもち主体的に考えられるよう、宇宙授業の内容を工夫した。さらに、学習効果を高めるためにスライドを活用し、分かりやすい解説を心掛けた。

i　実施報告書より

（小学校）

○プラネタリウム学習

・太陽の動きと比べながら月や星の動きを考えさせていて分かりやすかった。
・教科書には載っていない、惑星のことや星座にまつわる物語など、知的好奇心をくすぐる話が充実しており、児童はもちろん、教員も楽しく参加することができました。
・実際に今日見られるであろう星空を体感することで、身近なこととしてとらえることができた。
・自分たちが実際に星空の中にいるように感じたり、惑星の中に吸い込まれていくように感じたりでき、子ども達が楽しんでいました。

○星座早見教室

・星座早見表の使い方が３段階のポイントに分けられて、１つずつ手順を踏んでいけばよく、説明も非常に丁寧で分かりやすかった。
・実際に星座早見盤を使い、操作したうえで、星空を映し出して確認することができ、大変興味関心をもちながら取り組むことができていた。
・使い方が分かりやすく、実際の空で使ってみたいと、意欲を高めた児童が増えた。

○サイエンスショー

・目に見えない空気の存在を、実験を通して知ることができた。実験の種類も多く、テンポよく次々に展開されるので、子どもたちは最後まで目を輝かせて見学していた。

・空気というものを視覚的に感じることができていた。

・ショーの間「すごい！なんでだろう？」と子どもの反応が良かったです。「家でもやってみたい」と興味を持っていた様子でした。

（中学校）

○プラネタリウム学習

・天球の空間的な広がりを感じながら天体の動きを理解することができた。星座の種類に関しては授業で触れることがほとんどなかったため、生徒にとっては新しい発見になった。

・イメージしづらかった宇宙の広がり方や天体の運動のようすをつかむことができ、理解が深まった。

○宇宙授業

・地球と太陽の関係、また土星の表面温度を想定した液体窒素を使った実験など学校では準備することが難しいものを使って説明していてわかりやすかった。

・実際の比率に合わせた太陽や地球のモデルなどを用い、短時間で多くのことを理科しやすい説明であった。

（イ）園児（幼稚園・保育園）のプラネタリウム利用

ａ　ねらい　プラネタリウム番組の視聴を通して、星の世界とそれにまつわる物語などにふれ、楽しいひとときを過ごしながら、豊かな情操を育む。

ｂ　投影の内容

（ａ）幼児投影

○実施期間　小４・中３学習利用の予定のない開館日の中から実施可能日を設定。

○投影内容　星座解説、神話の紹介、楽しい宇宙クイズなど当館解説員による生解説（約１５分）及び、幼児番組「キラキラ森のなかまたち」（約２０分）。

○参加園及び参加人数

実施日	参加園	園児（人）	引率等（人）
２月１０日	原山保育園	２６	４
	駒場保育園	２３	３
２月１２日	大東保育園	２９	５
	浦和ライトハウス保育園	１４	２
２月１３日	こびとの森保育園	１９	４
	彩の森保育園	２１	４
３月　４日	春日部市立庄和第一保育所	２２	３
	グリーンベアインターナショナル武蔵浦和	３３	６
３月　５日	椎の実保育園	１４	５
	ミルキーウェイ東大宮園	２０	２
３月　６日	大宮たんぽぽ保育園	１８	４
３月１１日	浦和みずほ幼稚園	２９	３
	大谷口保育園	２８	４

３月１３日	本太保育園	３３	５
	領家保育園	１９	３
合計	参加園数（園）１５	３４８	５７

○実施報告より
・家庭によっては行けないお子さんもいる中、こうした投影があることで、大好きな友達と一緒に楽しめることは大きな喜びになると感じた。
・子どもたちの年齢に合った内容で、興味をもって楽しんでいました。自分の星座を見つけて喜ぶ姿もあり、解説をよく聞いていました。
・プラネタリウムが楽しかったという子が多かったです。星や宇宙に関する絵本への興味も以前より増したと感じました。

（ｂ）七夕投影



○実 施 日　令和７年７月３日（木）、７月４日（金）
○投影内容　七夕伝説の紹介、夏の星座など
　　当館解説員による約４０分間の生解説。
○参加園数および参加人数

実施日	参加園数（園）	投影回数（回）	園児（人）	引率等（人）
７月３日（木）	１０	２	２６７	４１
７月４日（金）	４	２	１１８	１９

（３）普及事業

ア　普及事業一覧

	区分	事業名	対象・定員	回数（回）	参加人数（人）
1	教室事業	（ア）天体観望会	一般・１００人	１２	９２５
		（イ）顕微鏡教室	小３～中学・１０～１６人	4	４８
		（ウ）自然観察教室	小学以上・３０人	２（中止１）	５１
		（エ）天文宇宙教室	小４以上・８人	3	１７
		（オ）昆虫博士教室	一般・１６人～２００人	7	８０４
		（カ）市民大学	小４～中学・１２人	3	３３
		（キ）科学実験教室	小３～中学・１６～２５人	4	７２
		（ク）科学工作教室	小１～中学・１６～２４人	5	１０３
		（ケ）ＳＴＥＭ教室	小１～中学・１０～４０人	3	４８
		（コ）電波工作教室	小１～高校・１６人	2	２７
		（サ）ハートキッズ教室	小２～高校とその保護者・１６組	2	５２
2	若田光一宇宙飛行士関連事業	（ア）若田宇宙飛行士アカデミー			
		a　スペースコース	小５～中学・２４人	9	１６
		b　ロボットディスカバリーコース			
		（a）プログラミングロボット教室			
		・プログラミングロボットで遊ぼう	小１～小３とその保護者・１０組	2	４０
		（b）ロボット作り教室			
		・かべよけロボットを作ろう	小１～小３とその保護者・２０組	1	３８
		・ロボットミッション１・２・３	小１～小３とその保護者・１８組	2	６８
		c　ロボットチャレンジコース			
		（a）コラボ・ロボット教室			
		・宇宙エレベーターロボットを作ろう	小４～中学・１８人	2	３１
		・スカベンジャーロボットを作ろう	小４～中学・２０人	1	１９
		（b）ロボット作り教室			
		・プチロボを作ろう	小４～中学・８人	2	１５
		（イ）コズミックカレッジ			
		a　キッズコース	小１～小２とその保護者・２０組４０人	1	３９
		b　ジュニアコース	小３～中学・２０人	1	１８
		（ウ）若田名誉館長杯			
		ローバーロボット大会２０２５	小４～小６・１６チーム	1	３２
			中学・２０チーム		４０
3	ワークショップ	（ア）ワークショップ	一般	５７	４２４０
		（イ）外部団体との連携（ワークショップ・実験教室）		１３	８５７
4	館内イベント	（ア）太陽観察会	一般　　日祝公開		８１０
		（イ）「若田光一宇宙飛行士コーナー」体験ツアー	一般　　日祝公開		１３２９
		（ウ）サイエンスショー			
		a　定例サイエンスショー	一般　　土日祝公開		６５６０
		b　特別サイエンスショー	一般　　各回２５０人	8	１８１４
5	学校等支援事業	（ア）スクール・サポート・サイエンス事業			
		a　出前授業	小３・小６	１８	１９０２
		b　天体観望会	小・中・中等教育・特別支援学校	３（中止5）	４４６
		（イ）サイエンス・フェスティバル	中～高校		２５９３
		（ウ）高校生ロケット大会	高校・５組	1	１０
		（エ）第２５回さいたま市児童生徒科学教育振興展覧会			９１８９
		（オ）第２５回さいたま市理科教育研究発表会（児童生徒の部）			２７５
		（カ）土曜チャレンジスクール		5	２０３
		（キ）中高生等による科学館ボランティア			７６
		（ク）中学生職場体験事業		4	１９
		（ケ）小学校施設見学		2	３０２

イ　教室事業

（ア）天体観望会

ａ　ねらい　市民の方々を対象に、四季折々の星座やその時季の天文情報を楽しみながら学んでいただくとともに、広く科学への興味・関心を高める。また、地球環境の大切さを再確認していただく機会とする。

ｂ　実施結果

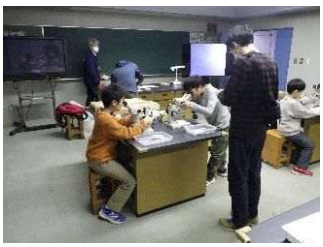
回	実施日時	主な内容・観察した天体	結果	参加人数（人）
４２７	４月５日（土） １９：００～２０：００	月、木星、火星の観察 望遠鏡：月、木星、火星	○	９３
４２８	５月１０日（土） １９：００～２０：００	月と火星、春の星座の観察 望遠鏡：月、木星、火星、ミザール・アルコル	○	７１
４２９	６月　７日（土） １９：３０～２０：３０	月と火星の観察 プラネタリウムで今夜の星空解説	△	６４
４３０	７月　５日（土） １９：３０～２０：３０	月と七夕のお話、スターウィーク情報 プラネタリウムで今夜の星空解説	△	８３
４３１	８月　２日（土） １９：３０～２０：３０	月と夏の大三角を見よう 望遠鏡：月、アルビレオ	○	６６
４３２	９月　６日（土） １９：００～２０：００	月の観察と皆既月食のお話 望遠鏡：月、アルビレオ	○	７７
４３３	１０月　４日（土） １８：３０～１９：３０	月、土星の観察とお月見のお話 プラネタリウムで今夜の星空解説	△	６１
４３４	１１月２９日（土） １８：００～１９：００	月と土星の観察とふたご座流星群の情報 望遠鏡：月、土星、恒星	○	８２
４３５	１２月２６日（金） １８：００～１９：００	月と土星の観察としぶんぎ座流星群の情報 望遠鏡：月、土星	○	６８
４３６	１月２４日（土） １８：００～１９：００	月と土星、すばるの観察 望遠鏡：月、土星、すばる	○	９３
４３７	２月２８日（土） １８：３０～１９：３０	月と木星の観察 望遠鏡：月、木星	○	８０
４３８	３月２８日（土） １９：００～２０：００	月、木星、冬の１等星めぐり 望遠鏡：月、木星	○	８７

○：完全実施（９回）

△：天候不良のため目的の天体を観測できず（３回）



（イ）顕微鏡教室



a　ねらい　光学顕微鏡の基本的な取り扱い方と操作方法を身に付け、観察することにより、自然界の巧みさや多様性にふれ、進んで自然を探究する意欲がもてるようにする。

b　実施結果

実施日	主な内容	参加人数（人）
６月　１日（日）	淡水プランクトンの世界を見てみよう（初夏）	１１
９月２７日（土）	身近な植物の体のしくみや花粉を見てみよう	１６
１１月８日（土）	淡水プランクトンの世界を見てみよう（秋）	１３
１月１８日（日）	身近な昆虫の体のつくりを見てみよう	８

（ウ）自然観察教室



a　ねらい　野外で動植物の生活を観察することを通して、自然に対する興味・関心を高め、環境保全や生命を尊重する態度を育てる。

b　実施結果

実施日	主な内容	参加人数（人）
５月１７日（土）	初夏の見沼田んぼで「ハッカ」を探そう	中止
９月２０日（土）	秋の見沼田んぼで「バッタつり」をしよう	２６
１月１７日（土）	見沼自然公園で「冬の野鳥」を観察しよう	２５

（エ）天文宇宙教室



a　ねらい　小学４年生から中学生を対象に、宇宙について楽しみながら学ぶことで、広く科学への興味・関心を高める。

b　実施結果

実施日	主な内容	参加人数（人）
８月　３日（日）	天体望遠鏡と自分のスマホで月を撮ろう	7
１１月３０日（日）	天体望遠鏡と自分のスマホで月を撮ろう	4
１２月　６日（土）	デジカメでの星空撮影 ～プラネタリウムの星空を使って撮影方法を学びます～	6

（オ）昆虫博士教室

ａ　ねらい　現在に生きる多様な昆虫たちの姿を詳しく紹介することにより、昆虫たちの様々な生態の不思議を発見し、興味・関心を高められるようにする。

ｂ　実施結果

実施日	主な内容	参加人数（人）
５月１１日（日）	さいたま市産のクワガタムシ・カブトムシにふれよう～幼虫・蛹（さなぎ）編～（講演会）	１７３
５月２４日（土）	みんな大好き！クワガタムシ！～採集編～（講演会）	１２８
６月　８日（日）	さいたま市産のクワガタムシ・カブトムシにふれよう～成虫編～（講演会）	１８９
６月１５日（日）	みんな大好き！クワガタムシ！～飼育編～（講演会）	８７
６月２９日（日）	蝶に魅せられて	１０
７月　５日（土）	さいたま市産のクワガタムシ・カブトムシにふれよう～自由研究編～（講演会）	１６０
８月１６日（土）	昆虫分類学について知ろう（講演会）	５７






（カ）市民大学

ａ　ねらい　本市では、市民の高度で専門的かつ多様な学習要求に応えるとともに、自発的な学習活動を促し、豊かな生涯学習社会を築くことを目的として、さいたま市民大学を開設している。本館は、さいたま市民大学の科学コースを開講している。

ｂ　実施結果

コース名「科学コース」　テーマ「プラネタリウム解説員になろう☆」

No	実施日	主な内容	参加人数(人)
1	９月２８日（日）	プラネタリウム解説員について知ろう	１１
2	１０月　５日（日）	プラネタリウム解説員を体験しよう	１１
3	１０月１２日（日）	プラネタリウム解説員になろう（発表会）	１１






（キ）科学実験教室

a　ねらい　身の回りにある材料を活用して観察や実験を行い、自然の事物や現象に興味・関心をもち自ら探究しようとする態度や好奇心を育てる。

b　実施結果

実施日	主な内容	参加人数(人)
５月３１日（土） 午前と午後で２回実施	石を割って化石を探そう	午前　２１ 午後　２２
７月　５日（土）	いろいろな電池の仕組みを学ぼう	１５
１月１０日（土）	モーターの回る仕組みを学ぼう	１４





（ク）科学工作教室

a　ねらい　子どもたちに、身近にある材料や工具を使って素材から物を作る喜びを体験させ、日常生活の中での豊かな物の見方や科学的な考え方を育てる。

b　実施結果

実施日	主な内容	参加人数（人）
７月　６日（日）	なぜそうなるのか。おうちの人と考え、話し合いながら作る４作品「ゴムで動け！」	２２
９月　７日（日）	なぜそうなるのか。おうちの人と考え、話し合いながら作る３作品「空を飛べ！」	２４
１０月　４日（土）	手作りかん電池を作ろう	１８
１２月１４日（日）	なぜそうなるのか。おうちの人と考え、話し合いながら作る４作品「鳴らして遊べ！」	２４
２月１４日（土）	コハク磨きとまがたまを作ろう	１５

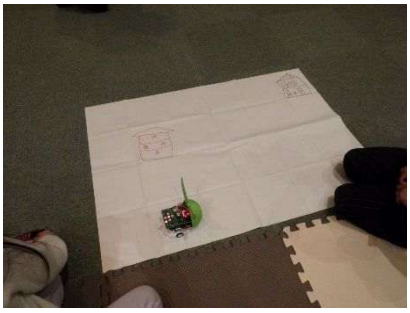



（ケ）ＳＴＥＭ教室

ａ　ねらい　科学技術分野の発展や革新を支え、新たな価値を創造し、未来社会を生き抜くために必要なＳ（Ｓｃｉｅｎｃｅ＝科学)、Ｔ（Ｔｅｃｈｎｏｌｏｇｙ＝技術)、Ｅ（Ｅｎｇｉｎｅｅｒｉｎｇ＝工学)、Ｍ（Ｍａｔｈｅｍａｔｉｃｓ＝数学）の分野についての見方・考え方を育む。

ｂ　実施結果

実施日	主な内容	参加人数(人)
６月１４日（土）	ｍｉｃｒｏ:ｂｉｔでプログラミングを体験しよう	１０
１２月１３日（土）	ブロックを利用して月面探査車を作ろう	８
２月１５日（日）	メリンちゃんを動かそう	３０


（コ）電波工作教室

ａ　ねらい　電波を使った様々な電気製品の特長や電波の仕組み、使い方、注意点、適正な利用方法について学ぶとともに、はんだごてを使用してラジオ作りに取り組み、身近に存在する電気製品の構造について理解を深める。

ｂ　実施結果

実施日	主な内容	参加人数(人)
６月２９日（日）	「おもしろ電波」とラジオ工作	１３
６月２９日（日）	「身近な電波」とラジオ工作	１４

（サ）ハートキッズ教室

ａ　ねらい　実際に使われる医療機器にふれ、心臓のしくみを学び、命の重みを感じることで、心臓病や生命について理解を深める。

ｂ　実施結果

実施日	主な内容	参加人数(人)
１１月２２日（土）	心臓外科医体験をしてみよう（午前）	２６
１１月２２日（土）	心臓外科医体験をしてみよう（午後）	２６



ウ　若田光一宇宙飛行士関連事業

当館の名誉館長である若田光一宇宙飛行士に関係する事業を開催し、若田宇宙飛行士の功績や日本人宇宙飛行士の活躍、日本の宇宙開発などを広く市民に伝えるとともに、宇宙に対する興味・関心を高められるようにする。

（ア）若田宇宙飛行士アカデミー

「若田宇宙飛行士アカデミー」は、当館の名誉館長である若田光一宇宙飛行士の功績や活躍を記念し、子どもたちの宇宙や科学技術への興味・関心を一層高め、夢や希望をはぐくむことを目的として開設された。

「若田宇宙飛行士アカデミー」は、３つのコースから構成されている。宇宙飛行士を目指す子どもたちが宇宙への扉を開く場として設定した「スペースコース」、ロボットや科学技術への興味・関心を高める場として設定した「ロボットディスカバリーコース」と「ロボットチャレンジコース」である。若田宇宙飛行士の言葉に「努力すれば夢は実現できる」とある。これらの活動を通して、最後までやり抜く力を培い、夢をもち、未来を切り拓く子どもたちの育成を目指す。

ａ　スペースコース

（ａ）ねらい　「宇宙飛行士をめざして～若田宇宙飛行士に続け～」をテーマに、子どもたちの宇宙や宇宙飛行士に対する興味・関心を高めるとともに、体験型のグループ活動を通して、楽しみながら宇宙に関する科学的な知識や協調性を身に付ける。

（ｂ）対　象　市内在住または在学の小学５年生～中学３年生　１６人

（ｃ）内　容

〇第１回

日　時　令和７年７月１９日（土）　１３：００～１６：００

会　場　さいたま市宇宙劇場

内　容　人類の挑戦、宇宙飛行士の歴史

① 開講式

② オリエンテーション

③ コミュニケーションエクササイズ（ペーパーブリッジを作ろう）

④ 講義「宇宙飛行士と宇宙開発～その壮絶なドラマとミッション～」

講師　渡辺　勝巳　氏　（元佐賀県立宇宙科学館長　現アドバイザー）

・宇宙飛行士の活躍

・無重量の宇宙での暮らし

・月面開発と今後の宇宙開発について

・宇宙飛行士の壮絶なドラマ

（宇宙への挑戦の歴史や宇宙の危険性）



開講式



ペーパータワー



講義

〇第２回

日　時　令和７年７月２７日（日）　１４：００～１６：４５

会　場　さいたま市青少年宇宙科学館

内　容　プラネタリウムを見て、宇宙や恒星、惑星について学ぼう

① 解説「若田光一宇宙飛行士について」

・若田宇宙飛行士コーナー解説

・展示見学

② プラネタリウム視聴

・今夜の星空解説

・プラネタリウム番組「天空の果てへ 有人気球・宇宙はすぐそこにある」視聴



若田宇宙飛行士コーナー解説

〇第３回

日　時　令和７年７月３１日（木）　１０：００～１６：００

会　場　さいたま市青少年宇宙科学館

内　容　宇宙ってどんなところ？宇宙の環境と暮らしを知ろう

① 講義・実験「宇宙環境」

講師　小口　美津夫　氏（ＪＡＸＡ宇宙教育指導者セミナー講師）

・宇宙の環境について（真空・高温・極低温・宇宙環境が人体に与える影響）

・真空実験…真空ポンプやシリンダーによって真空に近づけたとき、ろうそくの火やプロペラ、アルミ缶、マシュマロなどがどのように変化するかを実験する。

・極低温実験…液体窒素の中にマシュマロやゼリー、二酸化炭素などを入れて、どのように変化するかを実験する。

・微小重力環境について（無重量とは・重力による生き物の体への影響）

② 講義・実験「宇宙飛行士の生活」

・国際宇宙ステーション（ＩＳＳ）での生活の様子

・ペットボトル浄水器の製作・実験…小石・活性炭（小粒）・活性炭（大粒）・綿を使い、水を浄化する。
濾材を入れる順番をグループで考え、実験を行う。

・浄水実験（逆浸透膜を使用した浄水器）…ＩＳＳで使用している浄水器と同等の浄水器を使用して、水を浄化するところを観察する。

③ 解説「宇宙での食事」

・宇宙での食事についての映像を観る


真空実験


極低温実験


浄水実験

④ 活動のまとめ「『火星に宇宙のまちをつくろう』について考えをまとめよう」

・学んだことを振り返り、個人で考える

〇第４回

日　時　令和７年８月２１日（木）　　７：４０～１７：００

会　場　ＪＡＸＡ宇宙科学研究所　相模原キャンパス等

内　容　相模原に行って、宇宙開発や宇宙飛行士について見学しよう

① ＪＡＸＡ宇宙科学研究所　相模原キャンパス見学（団体ツアー含む）

・宇宙科学探査交流棟

（壁面シアターの視聴、　展示解説ツアーに参加、自由見学）

・宇宙探査実験棟見学ツアーに参加（自由参加）

② 国立極地研究所

・南極・北極科学館の自由見学

（南極観測の歴史、地球環境、昭和基地等について）


ＪＡＸＡ宇宙科学研究所　相模原キャンパス


国立極地研究所

〇第５回

日　時　令和７年８月３１日（日）　１０：００～１６：００

会　場　さいたま市青少年宇宙科学館

内　容　ハイブリッド・ロケットを打ち上げよう

① 講義「ロケットの歴史、原理、種類とその活用」

講師　石原　敦　氏（埼玉工業大学　名誉教授）

・ハイブリッド・ロケットの仕組み

② 体験「ハイブリッド・ロケットの組み立て、発射実験」

・ハイブリッド・ロケットの点火システムの作成と発射実験

③ 協議「『火星に宇宙のまちをつくろう』について考えをまとめよう」

・発表に向けての内容の協議、発表資料の作成

・情報共有、共同編集に向けたオリエンテーション



講義



発射実験

〇第６回

日　時　令和７年９月２１日（日）　１０：００～１６：００

会　場　さいたま市青少年宇宙科学館

内　容　最新の宇宙開発・宇宙産業を知ろう

①　講義「地上から小惑星『リュウグウ』まで、身近で働くアンテナのいろいろ」

講師　中嶋　政幸　氏（アンテナ技研株式会社）

・電波の特性　　・アンテナの開発

・身近なアンテナについて　　・衛星搭載アンテナについて

②　体験「宇宙開発とプログラミング」

・プログラミングロボット「ｍＢｏｔ」の使い方

・ミッション（機械制御）に挑む

・プログラミング発表会

③　協議「『火星に宇宙のまちをつくろう』について考えをまとめよう」

・発表会に向けての内容の協議、発表資料の作成



講義



プログラミング体験

〇第７回

日　時　令和７年９月２８日（日）　１０：００～１６：００

会　場　さいたま市青少年宇宙科学館

内　容　最新の宇宙開発事業

①　講義「一本のねじに載せた想い」

講師　田邉　弘栄　氏（株式会社キットセイコー）

・「はやぶさ」とキットセイコーとの関わり

・「はやぶさ２」のミッション　　・ねじの材質、分類

・「はやぶさ２」などの特殊ねじの製作技術

②　講義「宇宙で暮らすための人工重力施設」

講師　大野　琢也　氏（鹿島建設株式会社）

・建築を目指すきっかけ　・宇宙のスケール

・人工重力施設（ルナグラス）の仕組みやつくり、惑星間移動について

③　協議「『火星に宇宙のまちをつくろう』について考えをまとめよう」

・中間発表

・発表に向けての内容の協議、発表資料の作成



講義



講義

〇第８回

日　時　令和７年１０月２６日（日）　１０：００～１６：００

会　場　さいたま市青少年宇宙科学館

内　容　発表会事前準備

①　協議「『火星に宇宙のまちをつくろう』について考えをまとめよう」

・発表に向けての内容の協議、発表資料及び発表原稿の作成

②　発表会のリハーサル

・青少年ホールステージ上で、発表会当日の流れの確認及び発表練習

・発表資料及び発表原稿の精査と推敲



協議

〇第９回

日　時　令和７年１１月１６日（日）　１０：００～１６：００

会　場　さいたま市青少年宇宙科学館

内　容　プレゼンテーション

①　閉講式

②　「宇宙のまち　さいたま」フォーラム講演会

・講演会「宇宙に飛び出す玩具メーカー タカラトミーは宇宙でも遊ぶ」の視聴

・発表会「火星に宇宙のまちをつくろう」



閉講式



発表会



発表会

b　ロボットディスカバリーコース

ロボット作り等を通して、ロボットや科学技術への興味・関心を高めるとともに、発想力や創造力を伸ばし、問題解決能力と最後までやり抜く力などを養う。

（a）プログラミングロボット教室

実施日	講座名	主な内容	参加人数（組）
１０月５日（日） 午前と午後で2回実施	プログラミングロボットで遊ぼう	簡単なプログラミングの基礎を学び、ロボットを動かして遊ぶ。	午前　１０ 午後　１０

（b）ロボット作り教室

実施日	講座名	主な内容	参加人数（組）
９月１５日（月・祝）	かべよけロボットを作ろう	かべよけビーグル型ロボットを製作し、コースでの試走を行う。	１９
１月１２日（月・祝） 午前と午後で2回実施	ロボットミッション１・２・３	リモートコントローラー２チャンネルクワガタムシロボットを製作し、３つのミッションに挑戦する。	午前　１７ 午後　１７

c　ロボットチャレンジコース

ロボット作り等を通して、ロボットや科学技術への興味・関心を高めるとともに、発想力や創造力を伸ばし、問題解決能力と最後までやり抜く力などを養う。



（a）コラボ・ロボット教室（大学とのコラボレーション）

実施日	講座名	主な内容	参加人数（人）
７月１３日（日） １１月３０日（日）	宇宙エレベーターロボットを作ろう	レゴブロックを使って宇宙エレベーターの製作及び競技会を行う。	１５ １６
８月１７日（日）	スカベンジャーロボットを作ろう	スカベンジャーロボットの製作及びミニ競技会を行う。	１９

（b）ロボット作り教室

実施日	講座名	主な内容	参加人数（人）
９月１４日（日） 午前と午後で2回実施	プチロボを作ろう	プチロボを製作し、リモートコントローラーで操縦する。	午前　８ 午後　７

（イ）コズミックカレッジ

ねらい　実験や工作など、実際に手を動かして体験することを重視したプログラムを提供し、科学の楽しさや不思議さに触れさせ、物事への関心や探究心を引き出すとともに、すべての基盤であるいのちの大切さを感じることができる心豊かな子どもたちを育成する。

〈宇宙劇場会場〉

a　日　時　令和７年９月１４日（日）　９：４５～１１：３０

b　講　師　館職員

c　内　容

（a）コズミックカレッジキッズコース

・参加人数　親子１９組３９人

・内容　①星砂を探そう　②バルーンロケットを飛ばそう

〈青少年宇宙科学館会場〉

a　日　時　令和８年３月１日（日）　９：４５～１１：３０

b　講　師　館職員

c　内　容

（b）コズミックカレッジジュニアコース

・参加人数　１８人

・内容　①簡易真空実験　②空力翼艇

（ウ）若田名誉館長杯　ローバーロボット大会２０２５

a　ねらい　同年代の仲間と協力し合い、試行錯誤や工夫を重ねながら、ひとつの作品を完成させる体験をとおして、ものづくりの喜びとともに達成感・成就感を味わわせる。また、成果を競い合う場面を設定することにより、科学技術への興味・関心を一層喚起し、創造性豊かな青少年を育成する。

b　日　時　令和７年８月２４日（日）

９：００～１２：００　小学生の部（小学４年生～６年生対象）

１３：００～１６：３０　中学生の部（中学生対象）

c　場　所　１階　青少年ホール

d　内　容　２人１組でチームを組み、レスキュークローラー工作のキットをもとにロボットを製作し決められたコースをクリアし、ゴールするまでの時間を競う。１チームにつき２回試技を行う。タイムアタック形式を採用し、１回の競技で２種類のコースを行い、ベストタイムで勝負を競う。

（a）参加　小学生の部　登録：１６チーム　　競技参加：１６チーム　参加者数３２名

中学生の部　登録：２０チーム　　競技参加：２０チーム　参加者数４０名

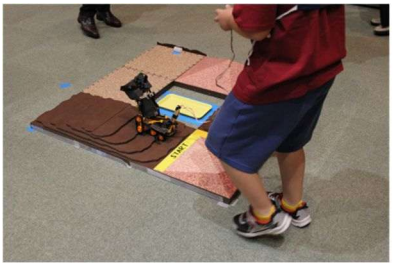
（b）関連行事

キット配付　　令和７年６月２２日（日）

練習期間　　令和７年８月　１日（金）～８月１７日（日）

（ｃ）大会結果

小学生の部		中学生の部	
順位	チーム名	順位	チーム名
優勝	バナナ一族	優勝	魚介のわんちーむ
２位	ロボタン	２位	ブレイブＴ
３位	蒼空＆まっつー	３位	森のバター
特別賞	マッチョゴリラ	特別賞	土屋中学校１・２年生 合同チーム



小学生の部

惑星探査コース



中学生の部

基地建設コース



表彰式

エ　ワークショップ・外部団体との連携

（ア）ワークショップ

a　ねらい　身のまわりの素材を使ったものづくりを通して、ものづくりへの興味・関心を高め、作るよろこびや完成の達成感を味わってもらう。

b　実施日と内容

毎週土曜日を中心に、外部団体の協力を得ながら、下表の内容でワークショップを計画した。数多くのワークショップを開催することで、来館者に「科学館へ行けば、いつも何か体験できる」と感じてもらい、リピーターの増加を図った。

月	日	曜	内容
4	5	土	ビー玉ゆらりんをつくろう
	１２	土	
	１９	土	
	２６	土	ぴょんぴょんさいレンジャーをつくろう
	２７	日	コロコロコクーンをつくろう
	２９	火・祝	
5	1	木	※LEDアート創作と光を操るプログラミングを体験しよう！
	3	土・祝	Wリング飛行機をつくろう
	4	日・祝	
	5	月・祝	ぴょんぴょんさいレンジャーをつくろう
	１０	土	クリップバッタをつくろう
	１７	土	
	２４	土	
	３１	土	※浮沈子をつくろう
6	7	土	昆虫切り紙をつくろう
	１４	土	
	２１	土	
	２８	土	
7	5	土	くるくる風車をつくろう
	１２	土	
	１９	土	
8	１３	水	※切り絵をつくろう
	１４	木	
	１６	土	ストロー笛をつくろう
	２３	土	
	３０	土	チリメンモンスターをさがせ
9	6	土	バランスバードをつくろう
	１３	土	
	２０	土	
	２７	土	※針金アメンボをつくろう

月	日	曜	内容
１０	4	土	鳴き声コップをつくろう
	１１	土	
	１８	土	
	２５	土	
１１	1	土	紙コップロケットをつくろう
	8	土	
	２２	土	
	２９	土	※くるくるリボンをつくろう
１２	6	土	クリスマスカードをつくろう
	１３	土	
	２０	土	
	２５	木	目のふしぎペーパークラフトをつくろう
	２６	金	ソーマトロープをつくろう
	２７	土	キラキラモザイクをつくろう
1	6	火	かさ袋ロケットをつくろう
	7	水	
	１０	土	トコトコ馬をつくろう
	１７	土	※くるくるクリップをつくろう
	２４	土	トコトコ馬をつくろう
2	7	土	ベンハムのこまをつくろう
	１４	土	
	２１	土	
	２８	土	チリメンモンスターをさがせ
3	7	土	キューブパズルをつくろう
	１４	土	
	２１	土	※ギシギシプロペラをつくろう
	２８	土	キューブパズルをつくろう

実施回数５７回

※印は外部団体と連携したワークショップ

c　参加人数　４，２４０人







（イ）外部団体との連携

ａ　内　容　ワークショップや実験教室

ｂ　活　動

○彩ねっと（ワークショップ）

回	実施日	内容	参加人数(人)
１	５月３１日（土）	浮沈子をつくろう	１１０
２	９月２７日（土）	針金アメンボをつくろう	１０１
３	１１月２９日（土）	くるくるリボンをつくろう	７５
４	１月１７日（土）	くるくるクリップをつくろう	１０９

○くらりか（ワークショップ）

回	実施日	内容	参加人数(人)
１	３月２１日（土）	ギシギシプロペラをつくろう	１０２

○ディレクトフォース（サイエンス教室）

回	実施日	内容	参加人数(人)
１	５月１０日（土）	墨流しで絵はがきをつくろう	１０
２	９月１３日（土）	香りの粒をつくろう	１４
３	３月　７日（土）	３Ｄ表札をつくろう	１５

○くらりか（サイエンス教室）

回	実施日	内容	参加人数(人)
１	６月　７日（土）	リモコンロボットをつくろう	１６
２	１０月１１日（土）	ポンポン船をつくろう	１４
３	１２月　６日（土）	水中エレベーターをつくろう	１９
４	２月　７日（土）	リニアモーター・クリップモーターをつくろう	１８

○ものつくり大学・都留文化大学・信州大学

回	実施日	内容	参加人数(人)
１	５月　１日（木）	「ＰＩＣＡＰＩＣＡ（ピカピカ）」ワークショップ　ＬＥＤアート創作と光を操るプログラミングを体験しよう！	２５４





オ　館内イベント

（ア）太陽観察会



a　内　容　日曜・祝日の１３時０５分から１５分間、５階屋上及び天体観測室において、天体望遠鏡を用いて太陽黒点等の観察や説明を行う。曇天時は太陽の説明のみを行う。高温・雨天時は中止。

b　実施結果

月	実施回数（回）	参加人数（人）	月	実施回数（回）	参加人数（人）
4	2	５９	１０	3	７６
5	3	８９	１１	4	６５
6	3	７０	１２	1	２９
7	高温のため中止		1	4	１４３
8			2	3	１００
9	4	９５	3	4	８４
			計	３１	８１０

（イ）「若田光一宇宙飛行士コーナー」体験ツアー



a　内　容　日曜・祝日の１３時２５分から２０分間、２階宇宙広場内の「若田光一宇宙飛行士コーナー」において、若田氏ゆかりの品や宇宙服など展示物の解説、国際宇宙ステーション内の施設（個室・トイレの実物大模型）の見学・体験を通して、宇宙での生活等を知る。

b　実施結果

月	実施回数（回）	参加人数（人）	月	実施回数（回）	参加人数（人）
4	3	７７	１０	5	１０３
5	3	７４	１１	5	９７
6	5	９０	１２	2	７５
7	4	８６	1	4	１２５
8	4	１７９	2	5	１５８
9	5	１５５	3	5	１１０
			計	５０	１，３２９

（ウ）サイエンスショー

科学のテーマに沿ったサイエンスショーを公開することを通して、来館者にイベントを提供するとともに、科学への興味・関心を高める。

ａ　定例サイエンスショー　　毎週土曜・日曜・祝日　１５：００～１５：２０

月	テーマ	実施回数（回）	参加人数（人）
４	空気のふしぎ実験	９	６４５
５	マイナス１９６℃の世界	１０	９１３
６	磁石のおもしろ実験	９	６９１
７・８	たのしい！風船・シャボン玉実験	１２	１，００３
９	炎のおもしろ実験	９	５６６
１０	おっとびっくり　音の世界	９	４９５
１１	宇宙ってどんなところ？	１０	５４８
１２	ミラクル！光のふしぎ実験	６	３４４
１	バチッ！と決めよう静電気実験	７	４０８
２	熱のびっくり実験	９	５１１
３	家庭でできる科学マジック＆実験	９	４３６
	合　　計	９９	６，５６０





ｂ　特別サイエンスショー

午前の部　１１：０５～１１：３５　　午後の部　１５：００～１５：３０

（ａ）第５５回「ＧＯ！ＧＯ！五十五話」の巻

日時　令和７年　５月６日（火・休）　参加人数：５０３人

内容　クルクル！まわして対決！、ギュギュっと！不思議な力対決、ヒューっと！飛び出し対決！、巨大空気砲　等

（ｂ）第５６回「新キャラ登場だがお！！」の巻

日時　令和７年　９月２３日（火・祝）　参加人数：５１２人

内容　オリエンテーション実験、光の実験対決、持ち上げ対決！、びっくり！大爆発対決！、巨大空気砲　等

（ｃ）第５７回「クリスマス！サンタさんからプレゼントがもらえるかな！？」の巻

日時　令和７年１２月２１日（日）　参加人数：３７４人

内容　割ったらだめよ！ドキドキ風船対決！、もうすぐクリスマス！光のイルミネーション対決、さいレンジャー対ブラック軍団　空気砲対決、巨大空気砲　等

（ｄ）第５８回「さいレンジャーもブラック軍団も虫たちもよろこぶ春ですね～！！」の巻

日時　令和８年　３月２２日（日）　参加人数：４２５人

内容　光の実験対決、ふわモコ対決、ひやひや！液体窒素でバーン、
巨大空気砲　等





カ　学校等支援事業

（ア）スクール・サポート・サイエンス事業

ａ　ねらい　さいたま市立小・中・中等教育・特別支援学校に青少年宇宙科学館の職員を派遣し、理科の基礎的・基本的な内容を踏まえた出前授業や天文に関する発展的な学習についての指導支援を行うことによって、学校における授業を支援し、理科教育の一層の充実を図るとともに、自然や科学への関心を高め、科学技術に夢や希望を抱く創造性豊かな児童生徒の育成に資する。

ｂ　期　間　令和７年１２月９日（火）～令和８年２月２７日（金）の休館日を除き、月を観測することができる課業日

ｃ　対　象　さいたま市立小・中・中等教育・特別支援学校で実施を希望した学校

ｄ　内　容

（ａ）出前授業（サイエンスショーを含めた理科授業）

・小学３年生「音を出して調べよう」

・小学６年生「電気と私たちのくらし」「地球に生きる」

（ｂ）出前天体観望会

・天体望遠鏡や双眼鏡を使っての月や星団等の観察

ｅ　実施校（実施校順）

・出前授業　１８校

泰平小学校、七里小学校、美園小学校、鈴谷小学校、北浦和小学校、馬宮東小学校
慈恩寺小学校、城北小学校、大谷場小学校、木崎小学校、大東小学校、西原小学校
日進北小学校、春岡小学校、大谷口小学校、大戸小学校、大宮南小学校、与野八幡小学校

・出前天体観望会　８校

馬宮中学校、野田小学校、※谷田小学校、※南浦和小学校
大砂土東小学校、※美園南中学校、※桜木小学校、※見沼小学校
※は悪天候、感染症等により中止

ｆ　実施評価（学校からの実施報告書より）

（ａ）出前授業（サイエンスショーを含めた理科授業）

【小学３年生　実施校１１校：１，２２０人】

評価内容	A (%)	B (%)	C (%)	D (%)
児童の興味・関心を高めることができた	１００	0	0	0
児童が学習内容を理解することができた	１００	0	0	0
教材、教具や科学館職員の説明は効果的であった	１００	0	0	0

（A：思う　B：どちらかというと思う　C：どちらかというと思わない　D：思わない）

【小学６年生　実施校７校：６８２人】

評価内容	A (%)	B (%)	C (%)	D (%)
児童の興味・関心を高めることができた	１００	0	0	0
児童が学習内容を理解することができた	１００	0	0	0
教材、教具や科学館職員の説明は効果的であった	１００	0	0	0

（A：思う　B：どちらかというと思う　C：どちらかというと思わない　D：思わない）

（ｂ）天体観望会

【実施校３校：４４６人】

評価内容	A (%)	B (%)	C (%)	D (%)
児童生徒の興味・関心を高めることができた	１００	0	0	0
実施計画に従い、スムーズに進行することができた	１００	0	0	0
科学館職員の説明は効果的であった	１００	0	0	0

（A：思う　B：どちらかというと思う　C：どちらかというと思わない　D：思わない）

（イ）サイエンス・フェスティバル

ａ　ワークショップ部門

（ａ）　ねらい　さいたま市内の中・中等教育・高等学校の生徒が、科学館にてワークショップを行うことで、さいたま市教育委員会の推進する「さいたまＳＴＥＡＭＳ教育」における、実社会につながる問題発見・解決能力や、理論立てて主張をまとめる力などを高め、探究的な学習を行う機会とする。また、参加校の生徒が来館者とのふれあいを通し、コミュニケーションの大切さを学び、参加した来館者が科学のおもしろさや不思議さを体験することで、科学に対する興味・関心を高める機会とする。

（ｂ）　日　時　令和８年１月３１日（土）～２月１日（日）
１０：００～１２：００　１３：００～１５：００

（ｃ）　場　所　１階　青少年ホール

（ｄ）　内　容　各学校で企画したワークショップを実施する。

学校名	ワークショップの内容	人数(人)
岸中学校	誰でも簡単に作れてよく回る、不思議なバランスモーターを作ろう！	１１
東浦和中学校	光と音のショータイム	5
南浦和中学校	めざせ　飛行距離　N0.1！　手作りストロー飛行機	0
大砂土中学校	つくってあそぼう！光のふしぎ万華鏡	9
土屋中学校	レジンで鉱物を作ろう	１１
与野南中学校	再利用してつくる　　エコホイッスル	１４
八王子中学校	つくってみよう！シュワシュワバスボム	１６
城南中学校	ピコピコカプセルをつくろう！	7
浦和中学校	ロボットと遊ぼう	２０
埼玉大学教育学部附属中学校	科学の力で音を奏でよう	7

※南浦和中学校はインフルエンザのため当日不参加

（ｅ）　参加校・参加人数

・参加校　：１０校

・参加人数：１００人

（ｆ）　期間中入館者数　２，５９３（２日間）

ｂ　サイエンスショー動画部門

（ａ）　ねらい　さいたま市内の中・中等教育・高等学校の生徒が、これまで学んできたことやＳＴＥＡＭＳの見方や考え方を活かして、小学生向けに科学の楽しさや不思議を伝えるオリジナルのサイエンスショー動画を制作することにより、達成感や成就感を味わう機会とする。また、生徒がＩＣＴを活用したサイエンスショー動画を主体的に企画・制作することにより、課題を見出し、その解決に向け多角的な視点を用いながら試行錯誤することなどを通して、論理立てて主張をまとめる力を鍛えるとともに、感性を生かし心豊かな生活や社会の価値を創り出す創造性を育む。

（ｂ）　日　時　令和８年１月３１日（土）～春休み期間

（ｃ）　場　所　動画公開　２階　サイエンスショーコーナー

（ｄ）　内　容　「空気」というテーマのもと、５分程度のサイエンスショー動画を製作する。

学校名	チーム名	動画の内容	人数(人)	賞
田島中学校	ヒヤシニンニク	大気圧実験	3	最優秀賞
宮原中学校	チーム宮原α	雲がどうやってできるのか	7	優良賞
	チーム宮原β	空気を圧縮すると火ができる	4	優良賞
与野南中学校	インフィニット　ラボ	ヘリウムガスを入れた風船におもりをつけたり風当てたりしてみよう！	9	パフォーマンス賞
八王子中学校	８ｔｕｂｅｒ	雲	3	優良賞
埼玉大学教育学部附属中学校	雲のふしぎ研究所	雲の発生の原理を知ろう。	6	優秀賞
	遊糸のゆらぎ	陽炎（シュリーレン現象）の原理を知ろう	8	優秀賞

（ｅ）　参加校・参加人数

・参加校　：５校（７チーム）

・参加人数：４０人

（ｆ）関連行事

・表彰式　　日時　令和８年２月１３日（金）　１５：００～１６：００

　　場所　１階　青少年ホール





（ウ）高校生ロケット大会２０２５

ａ　ねらい　青少年の科学技術に関する興味・関心を高め、チームで協力してものづくりに取り組み、楽しさを味わう。

ｂ　実施結果

（ａ）日　　時　令和７年１０月１９日（日）　９：００～１６：００

（ｂ）場　　所　さいたま市青少年宇宙科学館、さいたま市立道祖土小学校

（ｃ）参加人数　１０人

（ｄ）内　　容　①オリエンテーション
②講義（ロケットの原理、モデルロケットの制作概要）
③演習（ペーパーモデルロケットの制作、打ち上げ前の完成検査）
④打ち上げ・表彰

（エ）第２５回さいたま市児童生徒科学教育振興展覧会

（第７６回埼玉県科学教育振興展覧会さいたま市地区展）

ａ　ねらい　さいたま市立小・中・特別支援学校及び中等教育学校前期課程の児童生徒による科学的研究物の展示を行い、児童生徒・学校教育関係者並びに市民に広く公開し、科学教育の振興に資する。

ｂ　主　催　さいたま市教育委員会　さいたま市教育研究会理科専門部

ｃ　期　間　審 査 日　令和７年１０月　３日（金）
展示期間　令和７年１０月１６日（木）～１１月１５日（土）
成果発表　令和７年１１月１５日（土）

ｄ　出品数　小学校の部　１０４点、中学校の部　６０点

ｅ　実施結果

○最優秀賞

学校名	作品名
南浦和小学校	タガメの生存率を上げる条件とは？～タガメの研究４年目～
西浦和小学校	「蚕」の研究　パート４　～蚕と光の走性実験～
沼影小学校	転がる速さのひみつその３～最速の中身の条件とは？～
常盤北小学校	未来を変える『人工光合成』
日進北小学校	天気と気圧が自分の頭痛に与える影響についての自由研究
大原中学校	紐なし回転パラシュート　パラシュート作りパート５　（簡単な型紙で作れる、回転数が多いパラシュート作り）
尾間木中学校	オオセンチコガネの人工餌研究　Part２　～厄介なカビを制してその先へ～
大宮北中学校	ミゾナシミズムシの季節消長
春野中学校	発泡スチロールグライダーの飛行性能 Part7
城南中学校	発泡クーラーボックス最強化計画 総集編
美園南中学校	アリンピックⅤ　「アリの賢さに迫る！」～5 年目の観察～

（オ）第２５回さいたま市理科教育研究発表会（児童生徒の部）

ａ　ねらい　さいたま市内各地区より選抜された小・中学校の児童生徒による科学に関する調査や研究の成果を発表することで、科学教育の振興に資する。

ｂ　主　催　さいたま市教育委員会　さいたま市教育研究会理科専門部

ｃ　日　時　令和８年１月１６日（金）

ｄ　発表数　小学校の部Ａ　８校　　小学校の部Ｂ　７校
中学校の部Ａ　５校　　中学校の部Ｂ　５校

ｅ　実施結果

○最優秀賞

学校名	作品名
大砂土東小学校	動物版忍者ヤモリの擬態能力
道祖土小学校	１番飛ぶペットボトルロケットを目指して
岸中学校	タオルによる吸水量の違い～髪を速く乾かしたい！！～
西原中学校	立て！ペットボトルくん！

（カ）土曜チャレンジスクール

ａ　ねらい　当館の施設を、さいたま市教育委員会主催「土曜チャレンジスクール」の「子どもたちの安全・安心な活動拠点」として利用してもらい、プラネタリウムや展示学習等を通して自主的な学習の場を提供する。

ｂ　対　象　土曜チャレンジスクール実施校の児童生徒

ｃ　内　容　プラネタリウム視聴、ワークショップ

ｄ　実施校（実施日順）

実施日	学校名	人数（人）
９月　６日（土）	北浦和小学校	８５
１０月　４日（土）	大東小学校	２１
１１月　８日（土）	道祖土小学校	３１
１１月２９日（土）	大谷場東小学校	３８
１月２４日（土）	中尾小学校	２８
合計　５校		２０３

（キ）中高生等による科学館ボランティア

a　ねらい　ワークショップの準備や運営の補助を通して、科学への興味・関心を高めるとともに、他の科学館ボランティアや来館者、科学館職員とのふれあいを通して、コミュニケーションの大切さや働くことの意義を学ぶ。

b　期　間　令和７年７月１９日（土）～８月１４日（木）

c　対　象　中学校・中等教育学校・高等学校等に在籍する生徒

d　内　容

（a）活動内容　夏休みこども科学館まつり　ワクワクワークショップの運営補助

（b）参加状況

学校名	人数(人)	学校名	人数(人)	学校名	人数(人)
常盤中学校	1	春野中学校	1	幸手市立幸手中学校	1
本太中学校	1	与野東中学校	2	杉並区立和田中学校	1
東浦和中学校	2	与野西中学校	1	川口市立元郷中学校	1
南浦和中学校	1	八王子中学校	1	ふじみ野市立大井中学校	1
白幡中学校	3	城南中学校	１７	獨協埼玉中学校	3
大谷口中学校	1	浦和中学校	１０	筑波大学附属高等学校	1
上大久保中学校	2	美園南中学校	1	東京家政大学附属女子高等学校	1
尾間木中学校	1	浦和南高等学校	2	浦和学院高等学校	2
宮原中学校	1	大宮国際中等教育学校	2	浦和実業学園高等学校	2
大砂土中学校	1	埼玉大学教育学部附属中学校	3	県立越谷西高等学校	1
馬宮中学校	2	淑徳与野中学校	3	県立岩槻商業高等学校	1
片柳中学校	1	ｸﾗｰｸ記念国際高等学校さいたまキャンパス	1	計	７６

（ク）中学生職場体験事業

a　ねらい　中学生職場体験事業「未来くるワーク体験」等の趣旨に則し、当館事業に対する理解と科学に対する興味・関心を高める。

b　体験内容　プラネタリウム解説体験、警備体験、設備体験、清掃体験、水槽清掃、昆虫標本整理、ワークショップ準備作業　他

c　実施校

学校名	学年	人数	期間
大原中学校	２年生	３名	令和７年　７月　２日～　４日
木崎中学校	２年生	５名	令和７年１２月１０日～１２日
尾間木中学校	１年生	６名	令和８年　１月２８日～３０日
土合中学校	２年生	５名	令和８年　２月　３日～　５日

（ケ）小学校施設見学

a　ねらい　各学校の「生活科」や「総合的な学習の時間」において、調べ学習の場を提供することをねらいとする。

b　利用校

令和７年　９月３日（水）、４日（木）

道祖土小学校（小学２年生：１８０人）　生活科

令和７年　９月２４日（水）

原山小学校　（小学２年生：１２２人）　生活科

（４）「宇宙のまち　さいたま」フォーラム

令和６年１１月に「宇宙のまち　さいたま」を宣言して５周年を迎え、令和７年度以降は、次の５か年に向けて、「宇宙のまち　さいたま」の周知や内容の一層の充実を目指している。

「宇宙のまち　さいたま」フォーラムでは、宇宙について考える企画展、ＪＡＸＡ等職員や宇宙に深く関わる専門家を招いた講演会、ものづくりを通して宇宙や科学の面白さを体験するワークショップ等を毎年開催し、市民が宇宙や科学の面白さや不思議さに触れ、宇宙や科学へのあこがれや大きな志を膨らませるとともに、若田宇宙飛行士の功績を青少年宇宙科学館からさいたま市へ、さらに日本全国に向けて発信することなどを通して、教育と人材育成を柱とした「宇宙のまち　さいたま」をより一層推進することを目的とする。

ア　開催期間　令和７年１０月２５日（土）～１１月２４日（月・休）

イ　来館人数　９，９８７人

ウ　内　　容

（ア）「宇宙のまち　さいたま」講演会

ａ　開催日時　令和７年１１月１６日（日）　１３：３０～１５：３０

ｂ　場　　所　青少年ホール

ｃ　参加人数　１２３人

ｄ　内　　容

・開　　会
・主催者挨拶
・第　１　部　講演会
・講師紹介
・講　　演　演　題：「宇宙に飛び出す玩具メーカー　タカラトミーは宇宙でも遊ぶ」
　　講　師：株式会社タカラトミー　メディア戦略室　赤木　謙介氏
・質疑応答
・第　２　部　若田宇宙飛行士アカデミースペースコース修了生によるプレゼンテーション
　　「火星に宇宙のまちをつくろう」
・閉　　会





（イ）「宇宙のまち　さいたま」ワークショップ

ａ　開催日時

・令和７年１１月１４日（金）、１５日（土）

１０：００～１２：００、１３：００～１５：００

ｂ　場　　所　青少年宇宙科学館　正面入口、団体拠室、青少年ホール

ｃ　内　　容

１４日

団体名	内容
ものつくり大学	ばねの力で動くミニカーをつくろう
ディレクトフォース	クレーンの秘密・滑車のはたらき
さいたま市立大宮北高等学校	宇宙をみつめてみよう！
さいたま市立浦和南高等学校地学部	ミニミニリニアモーターカーを作っちゃおう！

１５日

団体名	内容
日本宇宙少年団さいたま支部	月を目指そう！水ロケット体験
ディレクトフォース	磁石でマジックタワーをつくろう
さいたま市立大宮北高等学校	宇宙をみつめてみよう！
さいたま市立浦和南高等学校地学部	ミニミニリニアモーターカーを作っちゃおう！
さいたま市立浦和高等学校サイエンス部	ロボットと遊ぼう





（ウ）企画展「『宇宙のまち　さいたま』展」

ａ　開催日時　１０月２５日（土）～１１月２４日（月・休）

ｂ　会　　場　１階　特別展示室

ｃ　内　　容

・「宇宙のまち　さいたま」紹介パネル

・「宇宙のまち　さいたま」アクションプランのＰＲ動画

・月やアルテミス計画、ＩＳＳ、宇宙旅行プラン等の紹介パネル、宇宙食の展示

・模型展示　ＳＬＳロケット（１／６０）・オライオン宇宙船（１／６０）

・ホワイトパズル体験、宇宙服体験

・ＳＯＲＡ－Ｑ体験会

（エ）特別投影

ａ　開催日時　令和７年１１月２３日（日・祝）

①　１０：００～１０：４５　②１２：００～１２：４５

③　１５：５０～１６：４０

ｂ　内　　容　①②さいレンジャープラネタリウム

③　「地球の歩き方 宇宙兄弟」舞台を巡るプラネタリウム

（オ）教育課程指導課　さいたま市児童生徒科学教育振興展覧会　最優秀賞作品成果発表会

ａ　開催日時　【展示】令和７年１０月１６日（木）～１１月１５日（土）

【発表】令和７年１１月１５日（土）

午前の部　①１０：４０～１１：００　②１１：３０～１１：５０

午後の部　①１３：１０～１３：３０　②１４：４０～１５：００

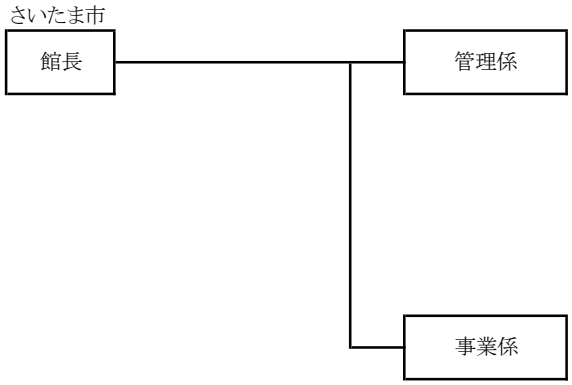
ｂ　場　　所　青少年宇宙科学館　ひまわり広場

ｃ　内　　容　令和７年度　第２５回さいたま市児童生徒科学教育振興展覧会にて最優秀賞を獲得した作品の成果発表会

5　管理事項

（1）組織・予算

ア　組織

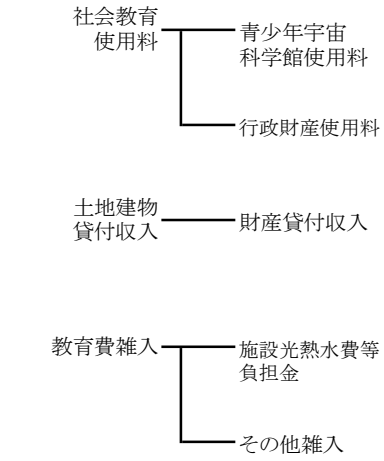


・科学館の管理及び運営に関すること
・科学館の利用に関すること
・科学館の庶務に関すること
・科学館の予算、決算、契約に関すること
・さいたま市宇宙劇場との連絡調整

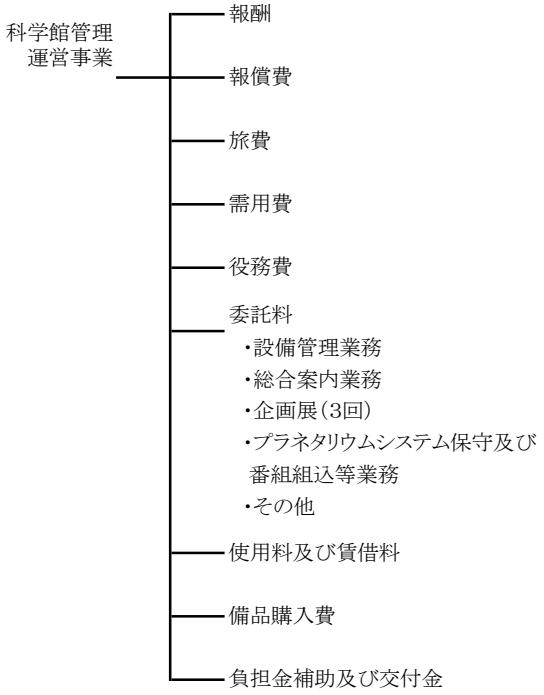
・事業の企画、運営及び指導
・各種教室、講座等の開催
・科学に関する資料収集・整理、展示
・科学知識の普及及び啓発に関すること

イ　予算

＜歳入＞



＜歳出＞



（２）設備･備品一覧

階	部屋名	主な設備・備品	主な用途	収容人数（名）
１階	プラネタリウム	ハイブリッド・プラネタリウム投影装置（ケイロン、バーチャリウムⅡ） コンピュータシステム 音響装置	一般公開 小・中学校学習	250
	青少年ホール	舞台照明装置、舞台音響装置 ピアノ、反響板、スライド映写機 １６ミリ映写機、オーディオ装置	講演会、映画会 各種団体総会、式典 音楽会、研修会 レクリエーション （一般貸出可）	300
	ふしぎ広場	ボールコースター ボールサーキット、巨大万華鏡 ウェーブオルガン、登る水面 光のタワー、音の壁 フーコーの振り子、光のマジック 空中に浮かばせる鏡 ふしぎの世界 スイングバイ	一般公開 小・中学校学習	―
	特別展示室	可動式大型パネル 移動用パネル 展示ケース	特別展示 企画展示	―
	ふれあい広場	テーブル・イス	食事、休憩、展示	68
２階	ひまわり広場	大型ディスプレイ 双眼実体顕微鏡、生物顕微鏡 デジタル式気象観測装置 パワーズ・オブ・テン、立体視の世界 サイエンスショーコーナー 光の壁、スーパーカミオカンデとニュートリノ 化石、光電子増倍管 国際宇宙ステーション	一般公開 小・中学校学習	―
	宇宙広場	四季の星座、流星といん石、 太陽高度模型 展示パネル、スペースロード、 銀河系の仲間、 若田宇宙飛行士コーナー （国際宇宙ステーション寝室、及びトイレ模型、ＥＭＵ、インタラクティブコンテンツ） はやぶさ２採集サンプルレプリカ	一般公開 小・中学校学習	―
	団体拠室	会議用机・椅子	会議	60

階	部屋名	主な設備・備品	主な用途	収容人数（名）
３階	多目的教室１（準備室）	会議用机・椅子、電動遠心器、定温機、岩石切断機	科学実験教室 科学工作教室	36
	多目的教室２	角椅子、万力、木工工作台 電動糸のこ		20
	会議室１	会議用机・椅子 スクランブルボード	教育関係会議、研究会 行政関係会議 青少年関係会議 若田宇宙飛行士アカデミースペースコース	24
	会議室２			24
	和室		控室	―
４階	パソコン教室（準備室）	パソコン２０台、スクリーン、 各種ソフト	小・中学生・親子 市民 各パソコン教室 （一般貸出可） 天文宇宙教室	20
	電気工作室	双眼実体顕微鏡、生物顕微鏡 理科実験台（指導用含む）、角椅子 電気工具、電源装置	顕微鏡教室 科学実験教室	24
	天体観測研究室	屈折望遠鏡、反射望遠鏡、暗室	博物館実習	20
５階	天体観測室 屋上天体観測広場	２０ｃｍクーデ式屈折望遠鏡 コンピュータシステム、屈折望遠鏡 反射望遠鏡、星用直視分光器 双眼鏡２０台、太陽投影板	天体観望会 天文宇宙教室 太陽観察会	―
地下１階	視聴覚ホール	会議用机・椅子、ピアノ、ＣＤ、音響設備	講演会、講座、映画会 各種団体会議、研修会 音楽会、式典 （一般貸出可）	110

（３）利用状況

（単位:人）

月	開館日数	入館者数	プラネタリウム				青少年ホール	視聴覚ホール	パソコン教室
				大人	小人	小計			
4	26	10,005	一般	1,918	2,120	4,038	1,277	441	55
			学習	0	0				
5	27	14,383	一般	2,035	2,132	6,456	3,701	438	9
			学習	109	2,180				
6	25	14,250	一般	1,497	1,423	5,823	3,161	238	43
			学習	137	2,766				
7	27	15,192	一般	2,055	2,722	5,789	4,790	80	0
			学習	69	943				
8	27	20,095	一般	3,481	4,057	7,538	4,754	265	67
			学習	0	0				
9	25	13,015	一般	1,266	1,313	5,521	5,381	559	54
			学習	156	2,786				
10	27	8,821	一般	795	747	4,627	2,670	176	34
			学習	196	2,889				
11	26	10,665	一般	1,062	969	5,193	4,317	302	50
			学習	157	3,005				
12	23	6,910	一般	632	681	1,988	1,769	410	20
			学習	82	593				
1	23	7,831	一般	1,069	1,021	2,090	2,131	246	50
			学習	0	0				
2	24	7,703	一般	1,093	1,037	2,130	2,240	253	20
			学習	0	0				
3	26	9,015	一般	1,129	1,338	2,467	1,600	415	19
			学習	0	0				
合計	306	137,885	一般	18,032	19,560	53,660	37,791	3,823	421
			学習	906	15,162				

年度	入館者数	プラネタリウム				青少年ホール	視聴覚ホール	パソコン教室	その他
			大人	小人	小計				
S63～R5	4,416,680	一般	464,245	536,857	1,564,547	758,296	235,896	59,884	1,798,057
		学習	28,628	530,400					
		星と音楽	2,900	1,517					
R6	143,483	一般	20,745	22,348	59,876	40,237	4,945	395	38,030
		学習	898	15,885					
R7	137,885	一般	18,032	19,560	53,660	37,791	3,823	421	42,190
		学習	906	15,162					
累計	4,698,048	一般	503,022	578,765	1,678,083	836,324	244,664	60,700	1,878,277
		学習	30,432	561,447					
		星と音楽	2,900	1,517					

（４）プラネタリウム入場者調査

（単位:人）

	一般番組				学習番組	その他	合　　計		
月	10:00	12:00	14:00	15:50			大　人	小　人	計
4	1,172	516	1,751	341	0	258	1,918	2,120	4,038
5	1,007	945	1,509	566	2,289	140	2,144	4,312	6,456
6	373	1,251	593	462	2,903	241	1,634	4,189	5,823
7	565	1,095	1,923	622	1,012	572	2,124	3,665	5,789
8	1,267	1,632	3,589	816	0	234	3,481	4,057	7,538
9	742	412	746	412	2,942	267	1,422	4,099	5,521
10	422	311	387	282	3,085	140	991	3,636	4,627
11	232	262	823	370	3,162	344	1,219	3,974	5,193
12	174	187	511	225	675	216	714	1,274	1,988
1	490	239	708	326	0	327	1,069	1,021	2,090
2	329	320	789	274	0	418	1,093	1,037	2,130
3	495	306	940	311	0	415	1,129	1,338	2,467
合　計	7,268	7,476	14,269	5,007	16,068	3,572	18,938	34,722	53,660
平　均	606	623	1,189	417		298	1,578	2,894	4,472

カテゴリーごとにカウントされている人数の内訳

（３）利用状況

・入館者数…時間外も含めた全ての入館者

・一　　般…通常の４回投影
　　天体観望会
　　天文宇宙教室
　　市民大学の合計人数

・学　　習…小４学習利用
　　中３学習利用
　　欠席者投影の合計人数

・施設利用…事業以外減免なし
　　事業以外減免あり
　　事業減免なしの合計人数

（４）プラネタリウム入場者調査

・一般番組…通常の４回投影の人数から学習番組とその他を引いた人数

・学習番組…小４学習利用
　　中３学習利用
　　欠席者投影の合計人数

・そ の 他…幼児投影
　　七夕投影
　　特別投影【はじプラ、熟睡プラネ、さいレンジャープラネ、読み聞かせ等】
　　団体特別投影【市内の小・中学校以外の投影、地学実験教室等】
　　学習利用説明会
　　プラネタリウムを使用した天体観望会・天文宇宙教室の合計人数

年度	入場者数	総入館者数	入場率
S63～H20	774,226	2,390,518	32.4%
H21	51,597	126,318	40.8%
H22	53,329	129,464	41.2%
H23	62,837	134,478	46.7%
H24	60,470	138,188	43.8%
H25	56,355	138,536	40.7%
H26	54,261	127,778	42.5%
H27	59,249	148,039	40.0%
H28	56,299	163,844	34.4%
H29	60,441	200,131	30.2%
H30	51,825	178,766	29.0%
R1	54,909	159,278	34.5%
R2	13,745	41,279	33.3%
R3	53,820	101,898	52.8%
R4	47,975	110,568	43.4%
R5	53,209	127,597	41.7%
R6	59,876	143,483	41.7%
R7	53,660	137,885	38.9%

入場率の推移

$$（入場率＝\frac{総入場者数}{総入館者数}×１００）$$

（５）青少年ホール・視聴覚ホールの利用状況

ア　青少年ホール

（ア）概　　要

収容は３００席で、この階段席は後部エリアに収納されフラットの状態でも利用でき、多目的な機能をもつ。館での主催事業で使用する外、一般の有料貸し出しも行っている。

（イ）規　　模

ａ　ホ　ー　ル　幅１６ｍ　奥行１８ｍ

ｂ　舞　　台　間口１１ｍ　奥行５．５ｍ

ｃ　そ　の　他　楽屋、調整室

（ウ）設　　備

ａ　舞　　台　緞帳、舞台幕、反響板、吊物バトン、映写幕

ｂ　附属設備　音響設備、照明設備

ｃ　備　　品　ピアノ、マイク（ワイヤレスも可）、演壇、平台、机、椅子、スライド映写機、オーディオ装置等

（エ）利用形態

ａ　主催及び共催事業

（ａ）若田名誉館長杯ロボット大会…大会会場

（ｂ）学習利用

ｂ　貸出関係

（ａ）市　関　係…式典、総会、協議会、つどい、研修会、説明会、大会、部会、講演会等

（ｂ）学校関係…演劇練習等

（ｃ）青少年及び社会教育関係…総会、講演会、教室、祭典、コンサート等

（ｄ）一　　般…ピアノ発表会、合唱練習、演劇、式典等

イ　視聴覚ホール

（ア）概　　要

収容は１１０席で、多目的な機能をもつ。

館での主催事業で使用する外、一般の有料貸出も行っている。

（イ）規　　模

ａ　ホ　ー　ル　幅８．５ｍ　奥行１７．２ｍ

ｂ　舞　　台　間口７．２ｍ　奥行２．４ｍ

ｃ　そ　の　他　調整室

（ウ）設　　備

ａ　舞　　台　袖幕、バック幕、 映写幕

ｂ　附属設備　ＡＶ設備　音響設備

ｃ　備　　品　ピアノ、ワイヤレスマイク（２本）、レクチュアアンプ、オーディオ装置、ＣＤ、机、椅子等

（エ）利用形態

ａ　主催及び共催事業

（ａ）講　演　会…科学・天文等の講演会

ｂ　貸出関係

（ａ）市　関　係…研修会、つどい、式典、講演会等

（ｂ）学校関係…学習会、校長会、コーラス練習、委員会等

（ｃ）青少年及び社会教育関係…つどい、例会、委員会、総会、コーラス練習、納会等

（ｄ）一　　般…コーラス練習等

ウ　利用状況

青少年ホール及び視聴覚ホールについては、青少年の健全育成を目的とし、館主催事業はもとより学校のクラブ活動及び青少年団体、並びに一般団体の利用による運営を進めている。

館の事業としては、若田名誉館長杯ロボット大会、科学普及講演会、科学展その他可動椅子を収納して、平坦な床で行ったイベントがある。

学校関係としては、小学校及び中学校学習利用はもとより、中学校の吹奏楽部、演劇部等のクラブ活動のほか幼稚園の各種行事にも積極的に利用されている。

市及び県関係では公式行事や、学校教育、青少年及び社会教育、児童福祉、文化団体等多岐にわたる利用がある。

青少年関係では、青少年団体や青少年育成団体の他、ＰＴＡ等の社会教育関係団体の行事に使われる。加えて、一般団体としてはピアノ、合唱等の練習や発表会、演劇、各種イベントにと利用されている。

以上、貸し出しホールについては、各分野の広範囲の団体により、多様な形態での利用が図られている。

６　報道記録

（１）テレビ・ラジオ

・テレビ埼玉　　８月　８日　「ニュース５３０」（「電気展　電気の不思議ミュージアム」紹介）
・テレビ埼玉　　８月１６日　「いまどき埼玉」（施設紹介、さいレンジャー紹介）
・日本テレビ　１１月２４日　「県民スター栄誉賞」（施設紹介、若田光一氏特集）
・テレビ埼玉　　１月　７日　「ニュース５３０」（「錯視展　キミはだまされる！?錯視びっくりな世界」紹介））
＊他　ＲＥＤＳ　ＷＡＶＥ　　「さいたまトピックス」で毎月２回　科学館から電話出演（録音）

（２）新聞（電子版含む）、ＷＥＢ記事

・埼玉新聞　　９月　１日　青少年宇宙科学館紹介（彩の国だより）
・公明新聞　　８月２４日　青少年宇宙科学館紹介
・浦和経済新聞　３月１２日　星景写真展紹介

（３）雑誌・情報誌・ｗｅｂメディア

・昭文社　　「まっぷるマガジン　まっぷる埼玉」
・昭文社　　「工場見学　社会科見学　首都圏版」
・ぴあ株式会社　　「こどもとおでかけ３６５日 首都圏版」
・埼玉県物産観光協会　　「ちょこたび埼玉」

7　さいたま市青少年宇宙科学館条例・施行規則

○さいたま市青少年宇宙科学館条例

平成 13 年 5 月 1 日
条例第 125 号

（設置）

第 1 条　青少年の科学に対する関心を深め、科学教育の振興に寄与するとともに、未来社会に対応した創造性豊かな青少年の育成を図るため、さいたま市青少年宇宙科学館（以下「科学館」という。）をさいたま市浦和区駒場 2 丁目 3 番 45 号に設置する。

（一部改正〔平成 14 年条例 67 号〕）

（業務）

第 2 条　科学館は、次に掲げる業務を行う。

(1)　プラネタリウムその他の投影装置による天体運行等の投影に関すること。

(2)　天体観測会の開催に関すること。

(3)　科学に関する資料等の展示に関すること。

(4)　科学に関する講座、講演会、映画会等の開催に関すること。

(5)　青少年の科学に関する団体活動の奨励及び指導、助言等に関すること。

(6)　青少年ホール、視聴覚ホール及びパソコン教室（以下「青少年ホール等」という。）の利用に関すること。

(7)　前各号に掲げるもののほか、科学館の設置の目的を達成するために必要な業務に関すること。

（職員）

第 3 条　科学館に館長その他必要な職員を置く。

（休館日）

第 4 条　科学館の休館日は、次のとおりとする。ただし、市教育委員会（以下「委員会」という。）が管理上必要があると認めるときは、臨時に休館日を定め、又は休館日に開館することができる。

(1)　月曜日（その日が国民の祝日に関する法律（昭和 23 年法律第 178 号）に規定する休日（以下「休日」という。）に当たるときは、その日後において、その日に最も近い休日でない日）

(2)　1 月 1 日から同月 4 日まで及び 12 月 28 日から同月 31 日まで

（開館時間）

第 5 条　科学館の開館時間は、午前 9 時から午後 5 時までとする。ただし、委員会が必要があると認めるときは、これを変更することができる。

（青少年ホール等の利用）

第 6 条　青少年ホール等を利用しようとする者は、あらかじめ委員会の許可を受けなければならない。

（利用の制限）

第 7 条　委員会は、青少年ホール等の利用について、次の各号のいずれかに該当するときは、その利用に条件を付し、又はその利用を拒むことができる。

(1)　科学館の設置の目的に反すると認められるとき。
(2)　公益を害するおそれがあると認められるとき。
(3)　科学館の施設をき損するおそれがあると認められるとき。
(4)　前3号に掲げるもののほか、科学館の管理上支障があると認められるとき。

(利用権の譲渡等の禁止)

第8条　第6条の利用の許可を受けた者(以下「利用者」という。)は、その権利を他人に譲渡し、又は転貸してはならない。

(利用許可の取消し等)

第9条　委員会は、利用者が次の各号のいずれかに該当するときは、当該許可に係る利用の条件を変更し、若しくは利用を停止し、又は当該許可を取り消すことができる。
(1)　この条例又はこの条例に基づく教育委員会規則の規定に違反したとき。
(2)　偽りその他不正の行為により利用の許可を受けたとき。
(3)　前2号に掲げるもののほか、科学館の管理上特に必要があるとき。

(入館料等)

第10条　科学館の入館料は、無料とする。ただし、宇宙劇場に入場しようとする者は別表第1に定める入場料を、青少年ホール等を利用しようとする者は別表第2に定める使用料を納付しなければならない。

2　前項の場合において、既納の入場料及び使用料は、還付しない。ただし、市長は、理由があると認めるときは、その全部又は一部を還付することができる。

3　市長は、必要があると認めるときは、第1項の入場料及び使用料を減額し、又は免除することができる。

(入館の禁止等)

第11条　委員会は、科学館内の秩序を乱し、若しくは乱すおそれがある者の入館を禁止し、又はその者に対し退館を命ずることができる。

(原状回復の義務)

第12条　利用者は、施設の利用が終わったときは、速やかに当該施設等を原状に回復しなければならない。前条の規定により利用の停止又は許可の取消しの処分を受けたときも、同様とする。

(損害賠償の義務)

第13条　科学館の入館者は、故意又は過失により施設等を損傷したときは、それによって生じた損害を賠償しなければならない。ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(運営委員会)

第14条　科学館の運営に関する重要事項について審議するため、さいたま市青少年宇宙科学館運営委員会(以下「運営委員会」という。)を設置する。

2　運営委員会は、委員長及び委員9人以内をもって組織し、次に掲げる者のうちから委員会が委嘱し、又は任命する。
(1)　学識経験者
(2)　学校教育関係者
(3)　社会教育関係者

(4)　公募による市民

3　委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

4　委員が欠けた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（一部改正〔平成23年条例16号・26年19号〕）

(委任)

第15条　この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附　則

(施行期日)

1　この条例は、平成13年5月1日から施行する。

(経過措置)

2　この条例の施行の日の前日までに、合併前の浦和市青少年宇宙科学館条例(昭和63年浦和市条例第9号)の規定によりなされた処分、手続その他の行為は、この条例の相当規定によりなされたものとみなす。

附　則(平成14年12月26日条例第67号)

この条例は、平成15年4月1日から施行する。

附　則(平成23年5月16日条例第16号)

(施行期日)

1　この条例は、公布の日から施行する。

(市議会の議員として委員の職にある者の特例)

2　この条例の施行の際現にこの条例による改正前のさいたま市名誉市民条例、さいたま市総合振興計画審議会条例、さいたま市行政区画審議会条例、さいたま市立小・中学校通学区域審議会条例、さいたま市青少年宇宙科学館条例、さいたま市同和対策審議会条例又はさいたま市景観審議会条例の規定により置かれる附属機関の委員の職に市議会の議員としてある者は、この条例の施行の時において、当該委員の職を辞したものとみなす。

附　則(平成25年12月26日条例第46号抄)

(施行期日)

1　この条例は、平成26年4月1日から施行する。

(経過措置の原則)

2　次項から第9項までに定めるものを除くほか、次の表の左欄に掲げる規定は、それぞれ、この条例の施行の日(以下「施行日」という。)以後の同表の右欄に掲げる行為に係る使用料、利用料金、手数料等について適用し、施行日前の同欄に掲げる行為に係る使用料、利用料金、手数料等については、なお従前の例による。

略	略
第3条の規定による改正後のさいたま市青少年宇宙科学館条例別表第2の規定	利用
略	略

附　則(平成26年3月25日条例第19号)

この条例は、平成26年4月1日から施行する。

附　則(平成31年3月13日条例第2号抄)

(施行期日)

1　この条例は、平成31年10月1日から施行する。

（使用料等に関する経過措置）

2　この条例（第1条、第10条から第12条まで、第15条、第16条、第17条（同条中第6条の改正に限る。）、第18条、第30条及び第51条から第53条までの規定を除く。）による改正後のそれぞれの条例の規定は、この条例の施行の日（以下「施行日」という。）以後に行う施設の使用等に係る使用料、利用料金等（以下「使用料等」という。）で施行日以後に納付するものについて適用し、施行日前に行った施設の使用等に係る使用料等で施行日前又は施行日以後に納付するもの及び施行日以後に行う施設の使用等に係る使用料等で施行日前に納付するものについては、なお従前の例による。

別表第1（第10条関係）

（一部改正〔平成25年条例46号・31年2号〕）

区分	入場料（1人1回の入場につき）
一般	520円
児童・生徒満4歳以上の幼児	200円

備考　「児童・生徒」とは、義務教育諸学校の児童及び生徒並びに高等学校の生徒をいい、「一般」とは、児童・生徒及び義務教育諸学校に就学前の幼児以外の者をいう。

別表第2（第10条関係）

（一部改正〔平成25年条例46号・31年2号〕）

種別	使用料	
	午前	午後
	午前9時～午後零時	午後1時～午後5時
青少年ホール	4,190円	8,380円
視聴覚ホール	2,090円	4,190円
パソコン教室	3,870円	4,920円

○さいたま市青少年宇宙科学館条例施行規則

平成13年5月1日
教育委員会規則第31号

(趣旨)

第1条　この規則は、さいたま市青少年宇宙科学館条例(平成13年さいたま市条例第125号。以下「条例」という。)の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(宇宙劇場の団体入場手続)

第2条　宇宙劇場に第5条の入場料の減額又は免除を受けようとする団体が入場しようとするときは、その代表者は、入場しようとする日の前日までに、青少年宇宙科学館宇宙劇場団体入場申請書(様式第1号)を市教育委員会(以下「委員会」という。)に提出しなければならない。ただし、委員会が特に認めるときは、この限りでない。

(一部改正〔平成18年教委規則9号〕)

(青少年ホール等の利用手続)

第3条　条例第6条の規定により青少年ホール等の利用の許可を受けようとする者は、利用しようとする日の属する月の3月前(利用者が市外居住者である場合は、2月前)から利用しようとする日までにさいたま市教育委員会の管理する公共施設に係るさいたま市公共施設予約システムの利用に関する規則(平成26年さいたま市教育委員会規則第17号。以下「教育委員会施設予約システム規則」という。)に定める利用許可申請書を委員会に提出し、又は教育委員会施設予約システム規則に定めるところにより、さいたま市公共施設予約システム(さいたま市市長の管理する公共施設に係るさいたま市公共施設予約システムの利用に関する規則(平成26年さいたま市規則第152号)第1条に規定するさいたま市公共施設予約システムをいう。)を利用して申請しなければならない。

2　委員会は、前項の許可申請に係る事項について支障がないと認めるときは、申請者に対して教育委員会施設予約システム規則に定める利用許可書兼領収書を交付するものとする。

(一部改正〔平成26年教委規則18号・21号〕)

(入場料及び使用料の還付)

第4条　条例第10条第2項ただし書の規定により入場料又は使用料を還付するとき及びその割合は、次のとおりとする。

(1)　さいたま市青少年宇宙科学館(以下「科学館」という。)の管理上特に必要があるため、委員会が利用の許可を取り消したとき　100分の100

(2)　利用者の責めに帰すことができない理由により入場又は利用ができなくなったとき　委員会が相当と認める割合

(入場料及び使用料の減免)

第5条　条例第10条第3項の規定により、宇宙劇場の入場料又は青少年ホール等の使用料を減額し、又は免除するとき及び減額の割合は、次のとおりとする。

区分	事由	減額の割合又は免除
宇宙劇場入場料	(1)　市又は委員会が主催し、又は共催する行事に利用するとき。	免除
	(2)　教職員に引率された市内の幼稚園若しくは保育園等の園児、小学校、中学校若しくは特別支援学校の児童若しくは生徒又はさいたま市立の高等学校若しくは中等教育学校の生徒が利用するとき。	免除
	(3)　市内の学校教育関係団体、青少年団体又は青少年育成団体が利用するとき。	100 分の 50
	(4)　入場及び退場をともにする 30 人以上の団体で利用するとき。	100 分の 20
	(5)　その他委員会が特に必要と認めるとき。	委員会が相当と認める割合
青少年ホール等使用料	(1)　市又は委員会が主催し、又は共催する行事に利用するとき。	免除
	(2)　市内の学校教育関係団体、青少年団体又は青少年育成団体が利用するとき。	免除
	(3)　市内の社会教育関係団体が利用するとき。	100 分の 50
	(4)　その他委員会が特に必要と認めるとき。	委員会が相当と認める割合

（一部改正〔平成 18 年教委規則 9 号・31 年 10 号〕）

（入場料及び使用料の減免の手続）

第 6 条　前条の入場料又は使用料の減額又は免除を受けようとする者は、青少年宇宙科学館宇宙劇場団体入場申請書又は教育委員会施設予約システム規則に定める利用許可申請書を提出するときに申し出なければならない。ただし、委員会が特に必要があると認める場合は、この限りでない。

2　委員会は、前項の減額又は免除を承認したときは、宇宙劇場入場時に宇宙劇場入場料から減額し、又は免除した金額を徴収し、青少年ホール等を利用する者に対しては、教育委員会施設予約システム規則に定める利用許可書兼領収書に減額し、又は免除した金額を明記し、利用する者に交付する。

（一部改正〔平成 26 年教委規則 18 号〕）

（所掌事務）

第 7 条　科学館の所掌事務は次のとおりとする。

(1)　科学館の管理及び運営に関すること。

(2)　科学館の利用に関すること。

(3)　さいたま市宇宙劇場との連絡調整に関すること。

(4)　事業の企画、運営及び指導に関すること。
(5)　各種教室、講座等の開催に関すること。
(6)　科学に関する資料の収集整理及び展示に関すること。
(7)　科学知識の普及及び啓発に関すること。
（全部改正〔平成15年教委規則15号〕）
(係の設置)
第8条　科学館に次の係を置く。
(1)　管理係
(2)　事業係
（追加〔平成19年教委規則1号〕）
(委任)
第9条　この規則に定めるもののほか、科学館の管理に関し必要な事項は、教育長の承認を得て、館長が定める。
（一部改正〔平成15年教委規則15号・19年1号〕）
附　則
(施行期日)
1　この規則は、平成13年5月1日から施行する。
(経過措置)
2　この規則の施行の日の前日までに、合併前の浦和市青少年宇宙科学館管理規則(昭和63年浦和市教育委員会規則第8号)の規定によりなされた処分、手続その他の行為は、この規則の相当規定によりなされたものとみなす。
附　則(平成15年3月27日教委規則第15号)
この規則は、平成15年4月1日から施行する。
附　則(平成18年3月27日教委規則第9号)
この規則は、平成18年4月1日から施行する。
附　則(平成19年3月27日教委規則第1号抄)
(施行期日)
1　この規則は、平成19年4月1日から施行する。
附　則(平成26年10月1日教委規則第18号)
この規則は、平成27年1月5日から施行する。
附　則(平成26年12月25日教委規則第21号)
この規則は、公布の日から施行する。
附　則(平成31年3月29日教委規則第10号)
この規則は、平成31年4月1日から施行する。
附　則(令和3年3月30日教委規則第7号)
(施行期日)
1　この規則は、令和3年4月1日から施行する。
様式　略

令和７年度　さいたま市青少年宇宙科学館運営委員会　委員名簿

		氏名	職名・所属団体等	
委員長		大向（オオムカイ）　隆三（リュウゾウ）	埼玉大学教授	
委員	1	鶴ヶ谷（ツルガヤ）　柊子（トウコ）	浦和大学准教授	
	2	菅野（スガノ）　千香子（チカコ）	さいたま市ＰＴＡ協議会	
	3	佐久間（サクマ）　由記（ユキ）	青少年育成さいたま市民会議	※1
	4	鈴木（スズキ）　伸嘉（ノブヨシ）	公募委員	
	5	木村（キムラ）　良治（リョウジ）	公募委員	
	6	饗庭（アエバ）　加和（マスワ）	さいたま市私立幼稚園協会	
	7	引間（ヒキマ）　陽子（ヨウコ）	さいたま市立小学校校長会 （さいたま市立北浦和小学校長）	
	8	鈴木（スズキ）　真由美（マユミ）	さいたま市立中学校長会 （さいたま市立美園南中学校長）	
	9	根岸（ネギシ）　君和（キミカズ）	さいたま市立高等・中等教育学校校長会 （さいたま市立大宮国際中等教育学校長）	

任期　令和６年７月１日から令和８年６月３０日まで。

※１：佐久間委員の任期は、令和７年７月１日から令和９年６月３０日まで。

８　利用案内

（１）　開館時間……午前９時～午後５時（入館は無料です）

（２）　休 館 日……毎週月曜日（月曜日が休日の場合は、次の平日）

１２月２８日から１月４日まで

（３）　プラネタリウム投影開始時刻

	１	２	３	４
火・水・木・金	学習利用（団体）			１５：５０
土・日・祝日／学校春・夏・冬季休業日	１０：００	１２：００	１４：００	１５：５０

※１回の投影時間は約５０分です。　※投影途中の入退場はできません。

※各回入れ替え制で定員は２５０名です。　※学習投影は、一般の方は観覧できません。

※年末年始（１２月２８日～１月４日）は休館のため投影がありません。

（４）　観覧料金について

・プラネタリウム入場料

	一般	満４歳～高校生まで
個　　人	５２０円	２００円
団　体①	２６０円	１００円
団　体②	４１６円	１６０円

※団体①　市内の学校教育関係、青少年団体、青少年育成団体

※団体②　入場及び退場をともにする３０人以上の団体

※団体で入場する場合は、あらかじめ館に連絡が必要です。

（５）　貸し出しホールについて

・青少年ホール　３００席（可動椅子のため、ホールとしても使用可能）音響、照明設備完備

・視聴覚ホール　１１０席（机４４　椅子１１０）音響設備、スクリーン完備

・パソコン教室

（６）　ホール貸し出し料金について

	午前９時～正午	午後１時～午後５時	備　　考
青少年ホール	４，１９０円	８，３８０円	音響等付属設備経費無料
視聴覚ホール	２，０９０円	４，１９０円	
パソコン教室	３，８７０円	４，９２０円	

○交通

・浦和駅東口　　国際興業バス

グランド経由　北浦和駅東口行き「宇宙科学館入口」下車　徒歩３分

・北浦和駅東口　　国際興業バス

浦和駅西口行き「宇宙科学館入口」下車　徒歩３分

9　印刷物一覧



おもしろ！むしむし
ワ～ルド２０２５



電気展／
夏休みこども科学館まつり



「宇宙のまち さいたま」
フォーラム



錯視展
錯視びっくりな世界



星景写真展／
サイエンス・フェスティバル



プラネタリウム新番組

のびのびシティ
さいたま市

さいたま市青少年宇宙科学館



所在地　〒330-0051　さいたま市浦和区駒場２－３－４５
ＴＥＬ　０４８（８８１）１５１５（代）
ＦＡＸ　０４８（８８２）９７０２
ＵＲＬ　https://www.city.saitama.lg.jp/kagakukan/index.html